第１３号

# Fairy Paradise

2009/7

今月のフェアリー詰将棋

- 第12回WFPフェアリー作品展
- 推理将棋第24回出題
- OFM 第 149 回出題
- Fairy of the Forest #20
- 第25回詰将棋全国大会作品
- JIGSAW BOX #4

結果発表

- 第11回WFPフェアリー作品展
- OFM 第 148 回出題
- 推理将棋第23回出題
-

読み物

- JIGSAW BOX 裏話
- ギネスに挑戦！フェアリー編（歩合）
- 妖精賞の系譜（１）

# はじめに

今日この原稿を書いている時間には名古屋で第 25 回詰将棋全国大会が開催されています。私も最後の最後まで行く可能性を探っていましたが、 19 日に 2 つの現場が入りやむなく欠席となりました。やはり名古屋は遠いです。（というより四国の交通の便が悪いと言った方が正しいか）

今回は解答者表彰もあったようですね。3 位までの出席者がいなかったようですが、6 位の今川さんは出席されなかったのかな？とにかく解答者サイドからは一歩前進で喜ばしい限りです。水上さんにお礼を言いに行きたかったな。

詰将棋メモの速報によると看寿賞のスピーチでは中村さんが妖精賞の事を言ってくれたようでこれまた感謝です。フェアリー界の活性化に繋がるとよいのですが。

今月号は通常の解答募集に加え、Fairy of the Forest #20 、JIGSAW BOX#4 、太郎さんの第 25 回詰将棋全国大会記念展とたくさんの作品展が開催しています。解答者は大変でしょうが皆さんがんばって解答よろしくお願いします。

読み物は「たくぼんの解図日記」にて募集しました「ギネスに挑戦！フェアリー編歩合限定作品の使用駒数最小は？」の結果を一挙公開。投稿頂きました完全作は全作掲載しております。引き続きの挑戦もお受けしていますのでよろしくお願いいたします。

続いて先月まで連載していた「フェアリー煙詰総まくり」が終了しましたので今月より「妖精賞の系譜」と題して妖精賞受賞作を順次紹介していきます。過去の名作を是非並べて見ていただければと思います。

なお次号では詰パラ・フェアリーランドの解答成績ベスト〇〇（←どこまで発表するかはまだ未定）を一挙掲載の予定です。

果たしてフェアリーランドの解答王は一体誰の手に！皆さんの予想はいかがでしょうか？

こうご期待！

## 【 募　集 】

### 作品

フェアリー作品、 PG 、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

### 読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことでも研究物でも 4 コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト１０、自己紹介、何でも OK です。ページが埋まれば私は嬉しい？読者サロンのような感じで送っていただければと思います。

### 感想

第 13 号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

**たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp**

---

**協力いただいている方々のHPアドレス**

＊ご協力感謝します

**妖精都市**
http://www.geocities.jp/cavesfairy/

**詰将棋メモ**
http://toybox.tea-nifty.com/

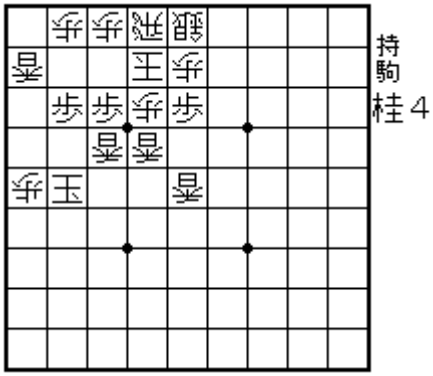
**詰将棋おもちゃ箱**
http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/

**Onsite Fairy Mate**
http://www.abz.jp/~k7ro/

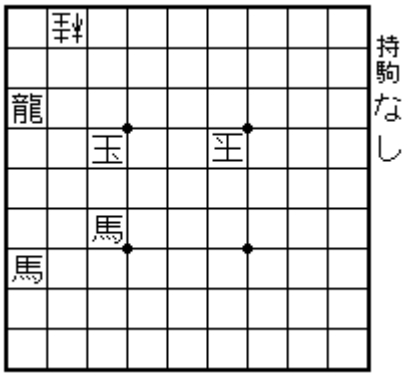
# 第 12 回 WFP 作品展　担当　紅月花煉

[ 作品投稿要項 ]
1) 作品投稿は随時受け付けています
2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です( 安南詰 etc)
3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします
[ 解答要項 ]
解答締切：平成21年 8 月15日
本作品展は、正式発表とし TOP Ⅸの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい
作品投稿及び解答は
webfairyparadise_you@yahoo.co.jp
にお願いします
余詰・近況報告は
http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/
で行っています。確認の上、解答下さい
ルール説明
【協力自玉詰】
先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます
【キルケ】
1. 駒が取られると最も近い将棋での指し始め位置に駒が戻される。戻せないときは持駒になる。但し、玉には適応されない
2. 戻す位置が 2 つある場合(5筋の金銀桂香 )戻す位置の選択は取った側が行う
3. 成駒は生駒として復活する。と金が復活して二歩になる場合は、復活できずに持駒になる
【前節】
同じ素材を異なる人が組み立てるというのはこの世界でもある事です。某の憂鬱ではそれをアニメでやり、某 SNS や巨大掲示板で散々叩かれているみたいです。私自身も 3 回目迄は楽しめましたが流石に 5 回目となると食傷気味です。何というか、大筋が同じ話を 5 回も毎週見るのは流石に…という感じ。発想は非常に面白いですがせめてDVDでやるべきだった予感ですね
今回は空気を読めない担当による自玉詰特集です。今月が全国大会の月だというのをすっかり忘れていました ( 汗　推理将棋はミニベロ氏から投稿を頂きました。難しいです…多分
【ヒント？＋コメント】
第 1 番は長いように見えて冗談作品です。持駒と手数から狙いを簡単に看破出来るはずなので形は悪いが客寄せのつもりです
第 2 番は此処にあるキルケ自玉詰からの創作なのでそこと似た感じになっています
第 3 番は半分冗談作なのですが嵌ったら難しいかもしれません
4 ～ 8 番はキルケ自玉詰になります。 4 番は例の手筋を利用した短編。 5 、 7 番はルールを利用した詰上りが狙いの作品です。 6 番はおまけです
8 番は目玉作品です。 2 解物としての出来は良いと思っています。まぁ、この辺りは個人の好みですが
解答期間が 1 月しかないのに自玉詰が 8 題と相当厳しいかもしれませんが、少しでも多くの方に解いて楽しんで頂ければ幸いです

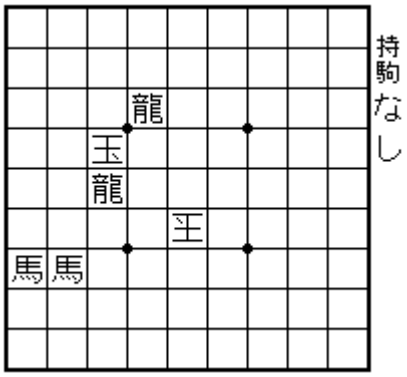
【フェアリー】
第 1 番　協力自玉詰16手



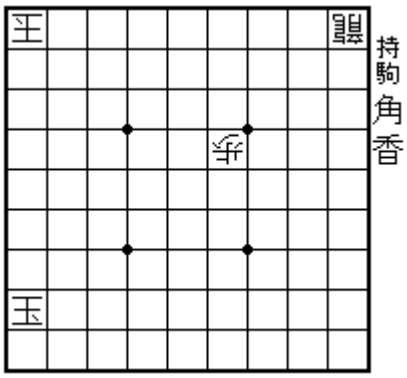

第 2 番　協力自玉詰 8 手



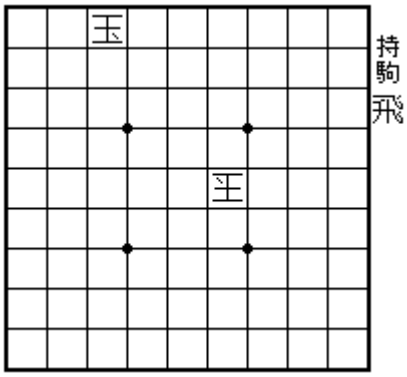
第３番　協力自玉詰10手



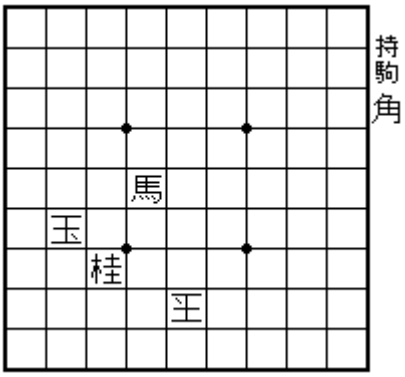

第４番　キルケ協力自玉詰６手



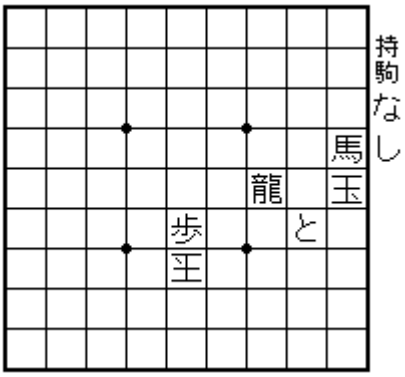

第５番　キルケ協力自玉詰８手



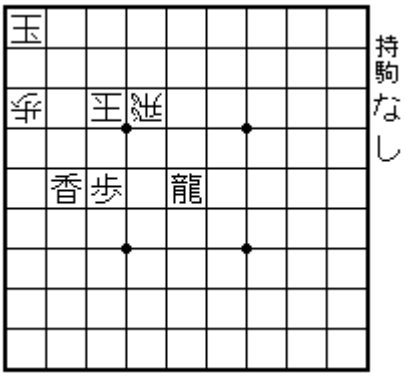

第６番　キルケ協力自玉詰８手




第７番　キルケ協力自玉詰８手




第８番　キルケ協力自玉詰10手@２解



【推理将棋】

**第１番　ミニベロ氏作「焦点の成り」**

傍目八目の３人の盤側での会話です。

「ウーム、 12 手で詰みか。初手に歩以外の駒を動かしたのが拙かったか」

「角取りに歩を突く手では、他にも手があったんじゃないの」

「最終手の４枚の敵の利きへの着手は、本局唯一の成る手だったね」

さて、どんな将棋だったのでしょうか。

・ 12 手で詰んだ
・最終手は４枚の敵の利き場所への着手で、唯一の成る手
・初手は歩ではない
・　角取りに歩を突いた

---

**詰将棋メモ**

## 推　理　将　棋　第 24 回　出　題

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第２４回出題です。はじめての方は
どんな将棋だったの？　- 推理将棋入門
（http://toybox.tea-nifty.com/memo/2007/05/post_53f2.html）をごらんください。

解答、感想はメールで２００９年７月２０日までに TETSU まで（ omochabako@nifty.com ）
メールの題名は「推理将棋第２４回解答」でお願いします。
全解答者から抽選で１名に賞品リスト(http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/tenji/shohin.htm)からどれでも一つご希望のものをプレゼント！

**推理将棋第２４回出題**

**担当　タラパパ**

中村雅哉さんが看寿賞を受賞し、スイリストの連続受賞が６年に記録更新！

こうなると、看寿賞が欲しいなら推理将棋をやるしかない(^^)

初登場の金子さん作は、推理将棋には珍しい必至問題で難問かも。

**２４－１　初級　まささん作**
**成り駒は作ったけれど　　９手**

５手目の着手が推理できればほぼ解決。攻防の一手を考えてください。

**２４－２　中級　橘圭伍さん作**
**もぐらたたき　　11 手**

なりふり構わずに駒頭の手を指さないと条件が満たせませんが。

**２４－３　上級　金子清志さん作**
**９手必至　　９手**

駒を取る手が予想外に多い。難問なので大ヒントです。

**２４‐１　初級　まささん作**
**成り駒は作ったけれど　　９手**

「さっきの将棋はどうなった？確か６手目をどう指すか長考していたね。」

「あの局面では僕は成り駒を作っていて優勢だと思ったんだけどな。」

「というと、負けちゃったのかい？」

「僕が玉を寄った手が悪手で、９手で詰まされちゃったよ。」

（条件）

・　９手で詰んだ
・　５手目を指し終えた時点で後手の成駒が盤上にあった
・　後手は玉を寄った

**２４‐２　中級　橘圭伍さん作**
**もぐらたたき　　11 手**

日和「後手が 62 の地点で詰まされた将棋、普通に見えますね」

美雪「 11 手で詰まされた時点で既に異常だと思いますが…普通というのはどの辺りがですか？？」

日和「成れる時には必ず成っているじゃないっすか」

美雪「でも、良く見ると変な所もあるんです

よ？」
日和「どの辺っすか？」
美雪「駒頭への着手が玉飛角金銀桂香歩頭への１回ずつだけなんですよね。普通ならもっとあると思うんですけど…」
日和「ですねぇ。でも、後手は歩頭に指された成駒を何故スルーしたのか…」

（条件）

- 11 手で詰んだ
- 成れる手を指した時には必ず成った
- 駒頭への着手が玉飛角金銀桂香歩頭に各１回だけあった
- 歩頭に指された成駒を、後手は取れたのに取らなかった
- 62 の地点で詰んだ
-

※　駒頭（すぐ上マス）の着手は、自駒・相手駒を問いません。たとえば、 76 歩、 32 金、 33 角成、 62 玉・・・は、３・４手目がどちらも金頭の着手で条件違反。

**２４－３　上級　金子清志さん作**
**９手必至　　９手**

「９手で投了しちゃいましたね」
「どう受けても次に１手詰の完全な必至。投了するしかないね」
「駒が成る手が１度も無くて必至とは、珍しいな」
「途中の王手のあたりから、変な将棋だとは思ってたんだ」

（条件）

- ９手で必至がかかった
- 10 手目に後手がどんな手を指しても 11 手目に詰む
- 駒を成る手なし
- 途中で王手があった

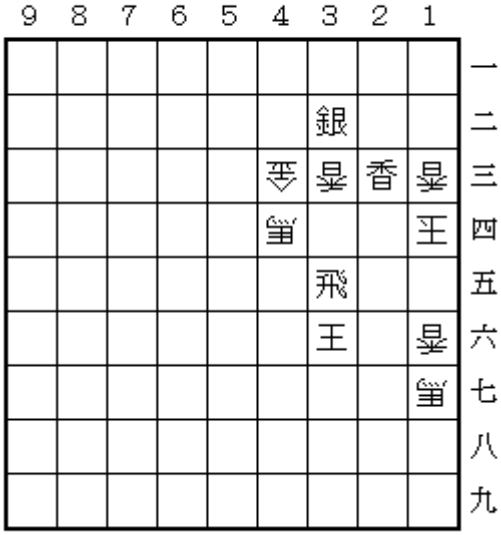
※　ヤケクソ王手も通用せず、必ず 11 手目に詰む順をお考えください。

（注）特に意味はありません。

## *Onsite Fairy Mate*　第 149 回出題

開催日　　：2009 年　7 月 12 日（日）
解答締切　：2009 年　8 月　1 日（土）
解答発表　：2009 年　8 月　2 日（日）

神無七郎 作
禁欲協力詰 75手




持駒 桂4歩18

【ルール説明】
**協力詰（＝ばか詰）**
　先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。
**禁欲**
　攻方は駒を取らない王手があれば、その手を選択しなければならない。
　受方は駒を取らない王手回避手があれば、その手を選択しなければならない。

本作の解答を E-mail で管理人宛（janacek789@ybb.ne.jp）にお送りください。

【本サイトへのメールについて】
解答や感想など、本サイトにメールを送っていただくときに、メールの件名に次の単語のうち一つ以上を入れるようにしてください。
「 OFM 」（小文字でも可）、「解答」、「感想」、「作品投稿」これらの単語を件名に含むメールが迷惑メール扱いされないよう設定しました。確実にメールが届くよう、ご協力をお願いします。

【コメント】

命題：将棋盤は宇宙を表す

　いきなり何を言い出すのかと思われるでしょうが、まあ少し話を聞いてください。

　この宇宙には安定な元素と不安定な元素があります。“安定”というのは物理的に安定、つまり放射線を出して勝手に崩壊しないという意味です。反対に、ウランのように放っておいても自然に放射線を出して別の元素になってしまう元素は“不安定”です。
　で、安定な元素がこの宇宙にいくつあるかというと、将棋盤の升目の数と同じ 81 なんですね。原子番号で言うと、原子番号 1 の水素から、原子番号 83 のビスマスまでが安定な元素です。「ちょっと待て。それじゃ 83 になるだろうが！」と言われそうですが、ご心配なく。途中 2 つ、原子番号 43 のテクネチウムと原子番号 61 のプロメチウムが不安定なおかげで、帳尻は合っているのです。
　いや～、天の配剤って素晴らしいですね。この偶然を利用すれば、将棋盤の各升目に安定な元素を割り振って、「この詰将棋は実は食塩（ NaCl ）をテーマにしてるんですよ」などということもできそうです。
　――ところが、科学の発展は時に無粋です。近年になってビスマスは極めて僅かながら放射性であることが分かってしまったのです。その半減期は $(1.9 \pm 0.2) \times 10000000000000000000$ 年だとか（最も安定な 209Bi の場合）。
　でも、これはメチャクチャに大きい数字です。現在推定されている宇宙の年齢の 10 億倍経っても半分にしかならないのですから、現実的には“安定”と言ってもあながち間違いではないと思います。いや、ここはそういうことにしておきましょう！
　さて、そんな科学的なのかそうでないのか分からない与太話はここまでにして、今回の出題です。今までこのサイトでは、何度か「強欲」条件の付いた作品を出題してきましたが、今回はその逆の「禁欲」条件の付いた作品です。慣れた人なら持駒を見ただけで狙いが分かると思いますが、今月はいろいろな出題企画が重なっているので、ちょうど良い難易度だと思います。多くの解答をお待ちしています。

（担当　神無七郎）

## Fairy of the Forest #20出 題

■ 2009年 05 月 18 日：課題発表：単玉の無防備図式（協力詰）
■ 2008年 07 月 15 日：投稿締切
■ 2009年 07 月 18 日：出題
□ 2009年 08 月 15 日：解答締切
□ 2009年 08 月 18 日：結果発表

■ 課題発表

神無七郎ーところで次回の課題ですが、神無三郎さんの言ってい た趣旨からすると、単なる「無防備図式」ではなく「無防備＋単玉」が正確ですね。

協力詰（特に長編）は余詰防ぎに攻方の王を使うことが多いので、単玉で（攻方の王を使わずに）どれだけ高度な表現ができるかが、作家の腕の見せ所となります。

すでに七郎氏から「無防備図式」の提案があり、他に提案もなかったので、これに決めます。ただし、上記のとおり「単玉（双玉不可）」という条件を加えます。神無三郎さん云々というのは、三郎氏に単玉無防備協力詰の長手数作（未発表）があり、どこまで記録を伸ばせるかが話題になったものです。

多数の投稿をお待ちしています。

宛先→酒井博久（ sakai8kyuu@hotmail.com ）

■ 出題

何と 10 局も集まりました。これだけ集まったのは、久しぶりです。
常連の七郎＆たくぼん氏に加え、新顔の雲海＆伊達悠氏からの複数投稿が大きかったです。

課題は「単玉の無防備図式」ということで、どこまで手数が伸びるかも注目されたのですが、七郎氏作は何と 200 手超え！ これだけでも今回の作品展の意義はあったかな。

他の作品も、短・中・長編がバランス良く揃ったと思います。解きごたえがありそうです。

解答締切は８月 15 日（土）。お盆の最中ですがお忘れなく。下記宛メールにてお願いします。

宛先→酒井博久（ sakai8kyuu@hotmail.com ）

■ 20-1 雲 海 協力詰７手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | 角 | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | 王 | | | | | 七 |
| | | | | | | | 角 | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂

■ 20-2 伊達悠 協力詰９手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | 角 | | 銀 | | 角 | | | 八 |
| | | | 銀 | 王 | 銀 | | | | 九 |

持駒 なし

■ 20-3 伊達悠 協力詰９手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 歩 | 角 | 六 |
| | | | | | | | 銀 | | 七 |
| | | | | | | 銀 | | 角 | 八 |
| | | | | | 銀 | | 銀 | 王 | 九 |

持駒 なし

■　20-4　伊達悠　協力詰 11 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | 銀 | | | | | 六 |
| | | | | 銀 | | | | | 七 |
| | | | 銀 | 王 | 銀 | | | | 八 |
| | | | | 桂 | | | | | 九 |

持駒 なし

■　20-5　伊達悠　協力詰 15 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | 歩 | | | 銀 | | | 歩 | | 七 |
| | | | | 銀 | | | | | 八 |
| | | | | 王 | | | | | 九 |

持駒 なし

■　20-6　たくぼん　協力詰 35 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| と | と | と | と | と | と | 飛 | 飛 | 金 | 一 |
| 金 | 金 | 金 | 銀 | 銀 | 香 | 角 | 銀 | 角 | 二 |
| 歩 | 桂 | 桂 | 桂 | 歩 | 歩 | 桂 | と | と | 三 |
| | | | | | | 歩 | と | と | 四 |
| | | | | | | 王 | 香 | と | 五 |
| | | | | | | | 歩 | 香 | 六 |
| | | | | | | | | 歩 | 七 |
| | | | | | 香 | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀

■　20-7　たくぼん　協力詰 49 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | 飛 | 飛 | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 四 |
| | | | 角 | 歩 | 桂 | 桂 | 桂 | 歩 | 五 |
| | | | 金 | 香 | 王 | | | | 六 |
| | | | 金 | 香 | | | | | 七 |
| | | | 金 | 香 | | 歩 | | | 八 |
| | | | 金 | 香 | 角 | | 歩 | | 九 |

持駒 桂歩2

■　20-8　雲　海　協力詰 51 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 三 |
| | | | 金 | 桂 | 歩 | 桂 | 桂 | 歩 | 四 |
| | | | 金 | 桂 | | | | | 五 |
| | | | 金 | 香 | | | 歩 | | 六 |
| | | | 金 | 香 | | | 王 | | 七 |
| | | | 飛 | 香 | | | | | 八 |
| | | | 飛 | 香 | | | | | 九 |

持駒 角

■　20-9　雲　海　協力詰 53 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | 桂 | 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 三 |
| | | | 金 | 桂 | 歩 | 桂 | 歩 | 歩 | 四 |
| | | | 金 | 桂 | | | | | 五 |
| | | | 金 | 香 | | | | | 六 |
| | | | 金 | 香 | | | 王 | | 七 |
| | | | 飛 | 香 | | | | | 八 |
| | | | 飛 | 香 | | | | | 九 |

持駒 角

■ 20-10　神無七郎　協力詰 215 手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| 飛 | 飛 | 角 | 銀 | と | と | と | と | 銀 | 三 |
| 歩 | 香 | 歩 | と | と | と | と | 銀 | 金 | 四 |
| 桂 | | | 香 | 金 | 歩 | 歩 | | 桂 | 五 |
| | 歩 | | 桂 | 金 | 金 | 桂 | | | 六 |
| | | | 歩 | 歩 | 銀 | | | | 七 |
| | | | | 香 | | 香 | | 歩 | 八 |
| | | 王 | | | | | | | 九 |

持駒 角

## 第 25 回詰将棋全国大会記念作

第 25 回にちなんだ、5 手詰　5 解（ 25 ＝ 5 × 5 ）の覆面ばか詰です。　　神無太郎

**神 無 太 郎 作**
**覆面ばか詰　5 手　5 解**

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | ▲ | | | | | | 四 |
| | | | | | ▲ | | | | 五 |
| | | | | 王 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 ▲

作者コメント
「次郎、三郎、七郎、八級各氏に全国大会参加予定を聞いてみましたが、それぞれ予定があって皆さん参加せずということでした。最近、散財が続いていて今後も続きそうなのと、名古屋まではやっぱりお金も時間もかかるのと、どうぶつ将棋 … とかで、今回はパスすることにしました。」

★　7 月 19 日に開催される詰将棋全国大会にちなんで全国大会参加記念作品展の開催の話を日記に書いたところ太郎さんより上記作品を投稿頂きました。結局私も不参加となり、作品展の開催は難しくなりましたのでここで特別に解答募集することになりました。

【ルール説明】

【覆面】手順が合法であるということを根拠に、駒を（部分的）に特定し、それによって目的達成を証明する。
覆面駒表記：▲：攻方の覆面駒
手順表示上の注意事項：成を記述して生駒が成ったことは主張できますが、生は記述できません。

解答先：たくぼん　takuji@dokidoki.ne.jp

今年は投稿作数こそ過去最小ですが、クオリティーはおそらく過去最高です。やや難解かも知れませんが、解図に時間をかけるだけの価値はあると思いますので、皆様是非とも挑戦を！

尚、作者によると第４番は投稿時点で３６手目以前が検討未了とのことです。

あと昨年までは作者名を伏せていましたが、マンネリも嫌なので今年は普通に出題します。

小峰耕希

宛先： jigsawbox@nifmail.jp

・解答締切：８月 16 日（日）　←多少遅れ可

・結果発表：９月 20 日（日）　←ＷＦＰ第 15 号に掲載

＜ルール説明＞

**【安南】**ある駒Ａの１マス後方に味方同士の駒Ｂがある場合、Ａの性能（利き）がＢの性能に変化する。

**【打歩協力詰】**別称打歩ばか詰。必ず打歩で詰ませなければならない協力詰。

**【協力自玉詰】**別称ばか自殺詰。双方が協力して最短手数で攻方を詰める。

**【協力詰】**別称ばか詰。双方が協力して最短手数で受方の玉を詰める。

**【最悪詰】**攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応ずる。

**【攻方取禁】**攻方のみ駒取り禁止。受方はこの限りではない。

**【成禁】**駒を成る手は禁止。

第１番　たくぼん（登場９回）
安南打歩協力詰 17手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | と | 角 | 馬 | | | | 五 |
| | | と | | | 王 | | 金 | | 六 |
| | | | | 香 | 歩 | | | | 七 |
| | 金 | | | | | | | | 八 |
| | | | 歩 | | | | | | 九 |

▲なし

第２番　雲海（初登場）
協力自玉詰 24手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 角 | 金 | | 四 |
| | | | | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | 香 | | 桂 | 王 | 七 |
| | | | | | 角 | 王 | | | 八 |
| | | | | | | 金 | | | 九 |

▲なし

第３番　たくぼん（登場10回）
成禁・攻方取禁協力詰 41手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 歩 | 歩 | | 一 |
| | | | | | 香 | | 金 | | 二 |
| | | | | | | 歩 | | | 三 |
| | | | | | 金 | | | | 四 |
| | | | | | 角 | 王 | 桂 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | 馬 | | 歩 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

▲なし

第４番　神無七郎（登場４回）
最悪詰 45手

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | 歩 | | | 歩 | 金 | | | 五 |
| | | | | | | 歩 | 歩 | | 六 |
| | | | 角 | | | | | | 七 |
| | | | 金 | 角 | | 桂 | | | 八 |
| | | | | 王 | | 香 | | | 九 |

▲なし

## ～ JIGSAW BOX 裏（むだ）　話 ～

JIGSAW BOXの担当になって３年目ですが、毎年この季節になると担当の本来業務から非本来業務にいたるまでいろいろ悩みます。今回はその辺りを順不同で書いてみました。

### ＜本来業務編＞

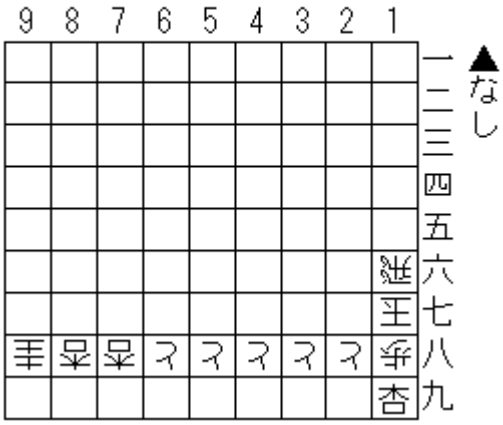
まず本来業務ですが、そもそも本企画は投稿作を選別するほどの応募数がある訳ではないので、完全作なら原則採用という現状。よって「選者」としての役割は殆どないです。ただ握り詰企画なので、無駄駒探しは普段以上にやらないといけません。純粋無駄駒があると出題意義に関わりますからね。

なんて言いながら去年は油断してて、結果稿を書く段になって無駄駒に気が付く始末。一体どこを見てたんだか。（--；）

今年は第１・３・４番に関しては僕が調べた範囲では大丈夫そうなのですが、第２番が調べきれませんでした。協自系の中編を全検するのは難しい…。一番乗りの投稿作でしたし、作者ご自身がどこまでチェックしていたか早めに問い合わせるべきだったかも知れません。反省。

因みにさっき“純粋無駄駒”と書いたのには理由があって、少ない駒数でも結構面白い手順が出来てしまうフェアリーでは、握り詰に際しては「わざと余詰み易い配置をする事で余計に駒を使う」という、余り綺麗ではないテクニックが必要になって来る場合もあるからです。

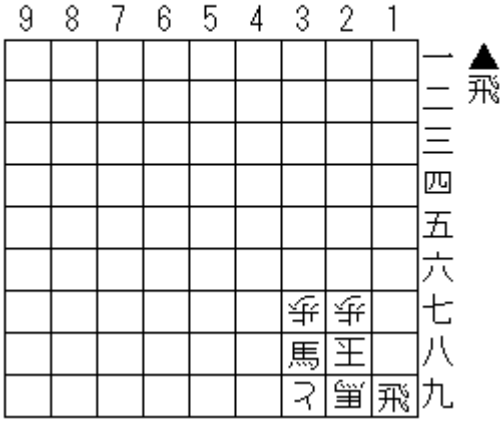
03-B1　神無太郎
対面協力詰 35手




例えば上図。19成香を生香にすれば16飛が要らないのは一目瞭然ですが、課題駒種使い切りを目指した作者は敢えて成香＋守備飛配置を選択しました（但しこのケースでは生香ヴァージョンでも「課題駒種引く１枚」で出題出来ましたが）。

他にも、理論上は「複数枚一組の無駄駒」というのもありえます。例えば↓。

マドラシ協力詰 1手

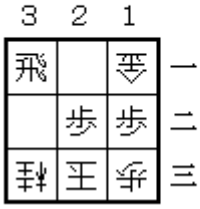



▲38馬・△29馬が両方あるか、或いはどちらも無い場合は完全作ですが、片方しかない場合は作品として成立していません。

前述の神無太郎作を可とすると、このようなケースも課題駒使い切りのためにはありなのかなぁ？　なんて空想を巡らしてみるのですが、流石にこんなケースに遭遇した事はありません。（当たり前か）

更に握り詰では「石」をどう扱うか、いう問題もあります。ｆｍに問題を入力するときなどは、「石」も駒として入力するので、つい握り詰では使えないような気もしてしまいますが。

神無七郎 作
PWCばか千日手 80手



これは神無七郎作（ＯＦＭ第 124 回出題 http://www.abz.jp/~k7ro/solve/solution25.html#124 ）。３×３のミニ盤を使った作品ですが、これってｆｍで検討するときは「石」で囲ってるだけですよね。ということは、極端な話をすれば、55の地点にだけ石が置いてある作品でも、「55の地点に穴が開いている特殊盤を使った作品」と見れば無問題！（？）

今回作品募集するときに、「純・準握り詰の枠外にあると判断されるような投稿作品があった場合は、完全作であっても、（中略）不採用にする可能性があります。」なんて書いたのですが、そのあとよく考え直してみたら、普通感覚では「純・準握り詰の枠外にある作品」でも、意外とフェアリー的発想で切り抜けられちゃったりしそうな気がしてきたというお話。ってこれ全然本来業務じゃないか。

長々書きましたが、結論としては JIGSAW BOX に投稿する際は余り堅苦しく考える必要はありません。

本当は――というかこれが一番大事なんですが――ＰＣで検討しきれなかった作品の人力検討というのも、他人様の作品を預かる立場にある者としては当然力を注ぐべき問題ですが、通常の解図時ですら普通の手順が見えずにお手上げになる人種なもので、まして意表の余詰順を見つけるとなると…。なかなか理想通りにはいきません。去年は１作余詰を見逃してしまいましたが、今年は果たしてどうなるでしょうか。

他にどうでも良い所で時間を割いている問題では、「作品の配列」というのもあります。今回は素直に手数昇順にしましたが、年によっては最短手数の作品が協自系の難解作だったりしますから。自分が担当をやるときは、なるべく第１番は難解にならないように心掛けているつもりです。

＜非本来業務編＞

既に相当話が脇道に入ってますが、もっと脇道な話。未だに自分のフォームが定まっていない問題の１つに盤面画像の作り方があります。何かで適当に作っちゃえば良いと言えばそれまでなのですが、凝り性なものでついいろいろ試してみたくなってしまいます。

僕が初めて解説役を引き受けたのは「森茂追悼作品展」でしたが、この時はまだ僕の知識や技術がさっぱりだった事もあって、神無太郎さんに画像作成をお願いしていました。そのとき太郎さんが使っていたのが神無次郎作というプログラムだったので、それに倣って僕も「JIGSAW BOX #02」では同じプログラムを使ったのですが、どうも使い勝手が今一でした。

翌年の「 #03 」では「あじゃ盤」の画像作成機能を使ってみたのですが、見栄えが悪化した割に使い勝手はさほど向上せず。しかも結果稿のＰＤＦ版はたくぼん編集長に任せっきりになったため、ここでも盤面画像作成の手間を他人に押し付けてしまいました。

今年は「Kifu for Windows」の画像作成機能（「ファイル」→「画像の保存」の方ではなく、「Ctrl+U」から作る方のやつです）を使ってみたのですが、これは前２つの方法に比べると見栄えも使い勝手も悪くなさそうです。去年までの方法だと途中図や詰上がり図を作るのが面倒だったんですが、「 KifuW 」は元が棋譜管理ソフトなので大丈夫なんですね。

ただ「 KifuW 」は基本的に指将棋や普通詰将棋を前提に作られているので、キルケ系のルールが入って来ると結局途中図を作るのが大変になりそうです。

「fmview」ならばどんなルールでも再生出来ますし、 Print Screen 機能を使えば画像作成は出来るでしょうが、いちいちトリミングの作業が入るのは気が進みません。あと「fmview」は手順を分岐させるのが面倒ですし、各手にコメントを付ける機能も無い等、操作性ではどうしても「 KifuW 」に劣るんですよね。

「KIFtoGIF」は結局「 KifuW 」のお世話になるのでメリット無さそうだし、とか考えてるとどんどん時間が経ってしまいます。実際それでまたしても原稿提出がギリギリになってるという（笑）。

こういう場合、既存のプログラムに不満があるなら自分で作るのが本筋ですが、いろいろと（詰将棋以外も含めて）手を広げてしまっている現状では、プログラミングの勉強にまで時間を取れそうにありません。せめて「fmview」で簡単に任意の局面を出力できるようになると有り難いのですが。

# 第 11 回 WFP 作品展結果　担当　紅月花煉

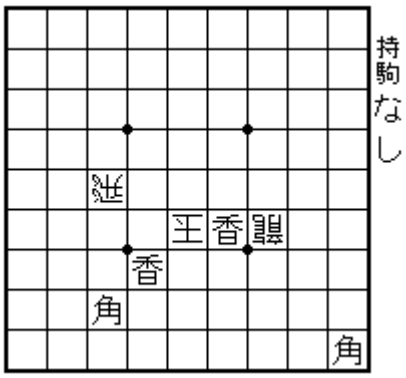
解答者数：４名
全題正解者　雲海氏　神無七郎氏
７題正解者：隅の老人Ｂ氏　たくぼん氏

【コメント】

客寄せ２題入れるも解答者増えずでした。持続していく事が重要でしょう。また、現在の毎月掲載から隔月にしてみるのもあるかもしれません。考えうる利点は、①創作の面でも楽になる②毎月掲載だと締め切り間際に来た作品を解かないで解答見て振り分けをする事になるが投稿作品は難易度が高くない限り自力解答してから出題できる、といった所ですが隔月にすると解答送信を忘れたり、投稿を忘れたり等という事も起こりえます。他にもありそうですが…この辺りはもう少し様子見てからでしょうか
今回は前代未聞の作稿期間が５時間程度という短期間になってしまいました。予め、やっておけという話でした。全国大会で読者が少しでも増える事を祈るばかりです

【フェアリー】

**第１番　菫川ぬぬぬ氏作　協力詰５手**




【作意】

63香成　55 玉　45 香　54 玉　64 杏　迄 5手

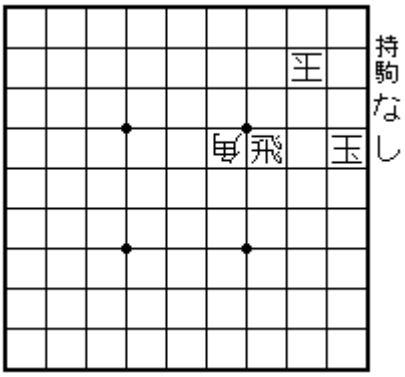
【作者＋担当者コメント】

完全に客寄せ用に作ってみた作品。飛車二枚がかなり苦しい配置なのですが……

【短評】

**神無七郎氏：**
走る香と歩く香。この手順は普通の詰将棋でも可能かも
**たくぼん氏：**
両方香の一目上りも面白そうだ
**雲海氏：**
やりたいことがわかり、とても易しいので客寄せに最高だと思います
**隅の老人Ｂ氏：**
欲張り爺さん、合駒を稼ぐと思ったら

**第２番　たくぼん氏作　安南協力自玉詰６手**




【作意】
24飛　23 香　同飛生　12 玉　15 香　23 玉迄6 手

【作者コメント】

すっきりまとまったので納得しています

【担当者コメント】

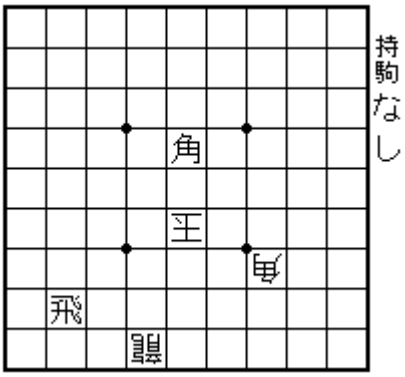
客寄せ２。角配置から詰上りが分かれば簡単

【短評】

**神無七郎氏：**
さすがにこれは一目。２手目飛合も有力ですが、これは最後に44王で脱出できてしまいますね。逆にこれが作意になると良いのですが
**雲海氏：**
無駄のない配置に感心しました
**隅の老人Ｂ氏：**

川中島の一騎打ち？　大音声、「われこそは、たくぼんなり」

**第 3 番　雲海氏作　協力詰 7 手**




【作意】

86飛　66 龍　同飛　57 玉　58 飛　47 玉　36 角まで 7手

【作者コメント】

この詰上がりを創りたい＆移動合を入れたい、というパトスからできた作品です。移動合は見え見えかもしれませんが、ウォーミングアップにどうぞ

【担当者コメント】

詰上がり勝負の作品でしょうか。私は結構悩んだのですが某氏はさっくり解いてました。やはり、見えるかどうかのようです

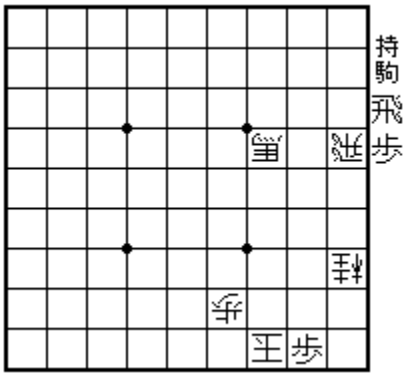
【短評】

**神無七郎氏：**
紛れが多くて難しいのですが、作意はあまり冴えないような…でも、タイムトライアルとかでこれを出されると、すごく焦ると思います

**たくぼん氏：**
69が飛でなく龍であるのが大きなヒントでした。

**隅の老人Ｂ氏：**
応手が、けっこう難しい。飛角図式で上手くできてる

**第 4 番　シン氏作　Isardam(A) 協力詰 7 手**




【作意】

99飛　89 馬　同飛　34 飛　38 歩　同飛生　28 角迄 7手

【作者コメント】

最近話題？の Isardam を私もつくってみました。あまり慣れていないせいか、相性が悪いのか、なかなか良い手順が浮かばず、紆余曲折して生まれたのがこれ。わざわざ相手の飛車を近づけて、利きをつくったところに角を打つのがちょっとおもしろい手順なのではないかと思います。問題は序です。「とりあえず遠打入れとけばいいか」という考えが露骨に出ていて、どこかから怒られそう。まあ、初めてですので、これぐらいでお許しください

【担当者コメント】

未だに慣れないルールですので解説に困ります。手順は同種の駒の効きに入れない事を利用しての退路封鎖がポイントです。最初の遠打は人によって受ける印象が違うみたいですが個人的には良い初手だと思いました。初形のバランスも良いですし

【短評】

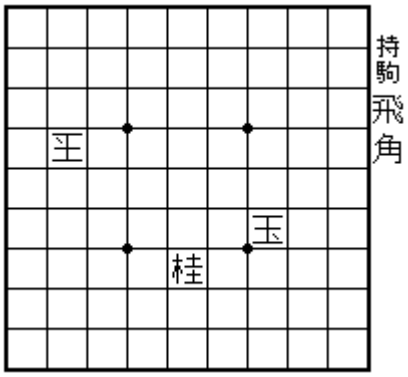
**神無七郎氏：**
初手の意味付けは物足らないですが、退路封鎖から取れない角打ちまでの収束 3 手は面白い

**たくぼん氏：**
これで詰んでるの？不思議な詰上り

**雲海氏：**
最遠打をシンプルに表現していますね。38歩の感触も面白いです

**隅の老人Ｂ氏：**
さんざん悩んで、ある日、たくぼんさんのＨＰ。誤植だって。たまにはあるさ、まあ、良いや

**第５番　雲海氏作　協力自玉詰12手＠２解**




【作意】

① 24飛　44 角　73 角　75 玉　25 飛　45 飛　64 角成　66 玉　65 馬　57 玉　47馬　同飛成　迄　12 手
② 14飛　74 角　73 角　75 玉　15 飛　25 飛　64 角成　66 玉　65 馬　57 玉　47馬　同角成　迄　12 手
③

【作者コメント】

初めての２解ものです。詰上がりだけはツインっぽいですが、もう少し対称性を入れたかったです。なお、ルールにキルケを追加すると双裸玉が可能ですが、そのためだけにルールを追加するのはちょっと…と思い、これでよしとしました

【担当者コメント】

巧く詰上りが対照になっています。作者はもう少し対照性を入れたいと書いていますがこの形ではこれが限度かと思います
ツイン作品では如何に異なる手順で対照性が出る方が綺麗だと思います。なので、本作品を弄るなら７～11手が異なる手順になるように展開する方が良いと思います（具体的な案は全くありません）

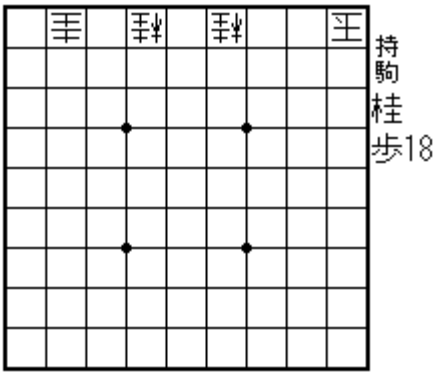
【短評】

**神無七郎氏：**
２解で飛と角の役割が入れ替わるの良い点。２解で途中の手順が同じなのは悪い点。ということで、総合的にはまあまあでしょうか。24飛から始まる解の方が魅力的なので、こちら単独の方が印象が良かったかも

**たくぼん氏：**
最終手が龍と馬の対比になっていて良い感じ。ただ最終手角成の詰上り15飛の存在がちょっと気になる

**隅の老人Ｂ氏：**
４番で悩んで、ここまでは手が回らず。これは負け惜しみです

**第６番　神無七郎氏作　強欲協力詰63手**




【作意】

12歩　同玉　13 歩　同玉　14 歩　同玉　15 歩　同玉　27 桂　14 玉　15 歩　23 玉　35 桂　22 玉　23歩　32 玉　33 歩　同桂　4３桂成　23 玉　33 圭　同玉　34歩　同玉　35歩　同玉　47桂　34玉　35歩　43玉　55桂　42玉　43歩　52玉　53歩　同桂　63桂成　43玉　53圭　同玉　65桂　52玉　53歩　61玉　73桂生　71玉　81桂成　同玉　82歩　同玉　83歩　同玉　84歩　同玉　76桂　83玉　84歩　72玉　64桂　71玉　72歩　61玉　52歩成　迄　63手

【担当者コメント】
１段目にある桂を跳ねさせて取る趣向作品。毎度の事ですが巧く出来ています

【短評】

**たくぼん氏：**
桂を交換する手順が上手いですね～。歩の数もピッタリで完成品。最初17迄引っぱってきて悩んだのは内緒です。

**雲海氏：**
前々から思っていたのですが、どうしていつも駒を使い切ることができるのでしょうねぇ

**隅の老人Ｂ氏：**
序盤、桂を直ぐに打ちたくなる。それにしても、15まで王を吊り上げるとは！桂の使用法、真に巧妙。強欲詰は簡単だと思っていたが、オォ、ミステイク

【Proof Game】

**第１番　橘圭伍氏作　Proof Game 11手**

【作意】

76歩　34歩　44角　35歩　同角　66角　46角　57角生　55歩　66角生　68角　迄　11手

【作者コメント】

角のテンポを移動地点が２ヶ所ある状態でやるのが狙い。１ヶ所だと76歩34歩44角33角みたいな形で行えますが２ヶ所以上は王手回避位しか意味付けがないと思いますが

【短評】

**神無七郎氏：**
うっかり７手目24角とすると、57角生が反則になりますね。この限定は巧いと思います

**雲海氏：**
角のテンポの味が良いと思います

**隅の老人Ｂ氏：**
定期健診、病院の待ち時間、印刷してきた図面を見つめて考える。たまたま、覗き込んだ隣の席の爺さんが、訝しそうな顔。
いくら将棋を知ってても、流石に、これは何だか判らない。こんな手順で如何でしょうか？

【総評】

**神無七郎氏：**
JIGSAW BOX #4未着手、 Fairy of the Forest #20　も未完了。来月は「氾濫」結果稿も作らねば…まずは後顧の憂いを断つべし、ということで今回は早目の解答です。焦って間違えてなければ良いですが

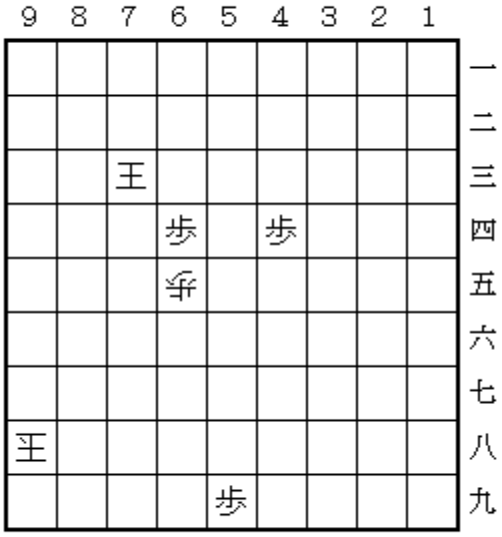
**たくぼん氏：**
今月は意外とすんなり解けちゃいました。やはり客寄せがあるといいですね。たくさんの解答がありますように…

**雲海氏：**
解答者増を狙うなら、やはり今月の１番のような簡単な問題が必要なのでしょうね。ならば手数が短い協力詰をしばらく創っていきます。どれだけ続けられるかはわかりませんが

## *Onsite Fairy Mate* 第 148 回出題解答

開催日　　：2009 年　6 月　7 日（日）
解答締切　：2009 年　7 月　4 日（土）
解答発表　：2009 年　7 月　5 日（日）

神無七郎 作
強欲協力詰 79手




攻方持駒 角歩14
受方持駒 なし

【ルール説明】

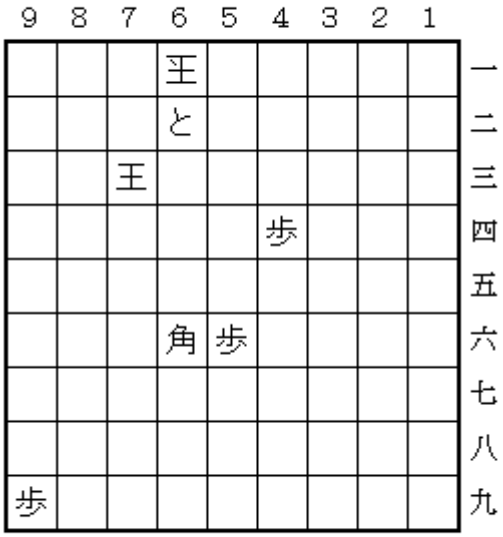
**協力詰（＝ばか詰）**
　先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

**強欲**
　攻方は駒を取る王手があれば、その手を選択しなければならない。
　受方は駒を取る王手回避手があれば、その手を選択しなければならない。

【手順】

99 歩　同玉　55 角　98 玉　99 歩　87 玉
88 歩　78 玉　79 歩　同玉　46 角　88 玉
55 角　79 玉　46 角　78 玉　79 歩　77 玉
55 角　68 玉　46 角　59 玉　37 角　68 玉
46 角　77 玉　78 歩　同玉　79 歩　88 玉
55 角　79 玉　46 角　88 玉　55 角　87 玉
88 歩　76 玉　77 歩　86 玉　87 歩　同玉
88 歩　同玉　76 歩　66 歩　同角　97 玉
75 角　87 玉　88 歩　76 玉　77 歩　同玉
78 歩　88 玉　97 角　78 玉　79 歩　68 玉
86 角　79 玉　97 角　68 玉　86 角　57 玉
75 角　56 玉　57 歩　55 玉　56 歩　44 玉
66 角　43 玉　44 歩　52 玉　63 歩成　61 玉
62 と　まで　79 手

神無七郎 作
強欲協力詰 79手**（詰上り）**




攻方持駒 なし
受方持駒 歩14

【解説】

強欲協力詰では飛や角は使いにくい駒です。
合駒すると取る一手になって考えどころがなくなってしまうからです。
そこで、本作では受方の持駒を制限することにより、大駒を使っても粘り強い手順が出るようにしました。
とは言っても、本作の基本は角歩を使った単純な横移動です。「斜めではなく横に進むためには歩を打たなければならないが、その打った歩を消してから出ないと次に進めない」という仕組みで８手一組の横移動趣向が成立します。
この横移動趣向を使って 59 歩の邪魔駒（これがあると 69 手目に 57 歩ができない）を消去し収束するというのが、本作の大まかなストーリーです。

ただ、 59 歩を消して戻ってきた後に方向転換をする手順が結構難しい（ 45 手目 76 歩の開き王手をする筋に気付く必要がある）ので、解くのは結構難しかったと思います。ここをクリアできずに 59 歩の消去に気付かなかった人もいるかもしれません。
65 歩（初形で角を盤上に配置しなくても済むように）とか、攻方 73 王（収束のためだけの配置）など不満点も多々ありますが、「強欲」条件下で大駒を使う趣向作が作れることが分かったので、割と良い収穫だったと思います。

【正解者及びコメント】（正解 3 名：到着順）

**雲海さん**

最初 59 歩がいかにも怪しく感じたのですが、先に 76 歩の開き王手の筋を見つけてしまったので、その方向で解いていきました。
すると…　「 59 歩、やっぱりお前か…」
案の定 59 歩が邪魔駒になっていて引っ掛かりました。角と歩の一風変わった手順を楽しめました。
ところで、遅まきながら 100000 カウント達成おめでとうございます。私もジャスト 100000 を踏むことを狙っていたのですが、 99960 と 100120( くらい ) でした。無念。いったい誰が踏んだのでしょうねぇ。あと、パラ HP みたいに記念作品展みたいなのはないのでしょうか？（と提案だけしてみます）

☆　ありがとうございます。カウンター 100000 に近くなったときには私も一応気をつけていたのですが、気付いたら過ぎていました。CGIのトラブルで何回かカウンタがリセットされたため、数字自体は正確ではないのですが、「こんなごく一部のマニアのためのページでも、長く続けていけばそれなりの数字には届くんだなぁ」という感慨はあります。
さすがに記念作品展をやるほどストックはないので、これまで通り自分のペースに合わせて更新を続けたいと思います。

**たくぼんさん**

打った歩があるのでなかなか希望する方へ玉が進んでくれない。その歩を消去しないと先へ進めないというジレンマの作品。
堂々とした邪魔駒の 59 歩消去も一筋縄ではいかないし。結構難しかったです。
解図は、 59 歩を無視して詰みを発見→ 59 歩消去の手順を考えるといった流れでした。

☆　 59 歩はいかにも「私は邪魔駒です」と主張している配置ですから、これがないと仮定して解いてみるというのは有効な方法だと思います。
たくぼんさんのこの評は難問を解く時の参考になりますね。

**隅の老人Ｂさん**

幾ら歩があっても、角と歩だけで詰むのかしら？詰むとしたら、 64 歩or44歩のどちらか、ひょよっとしたら、両方が成るのだろう。先ずは上辺へ追いましょう、これがなかなか追えません。 59 歩が邪魔駒とは！、良くまあ、こんな作品を創りますね。
やっぱり、七郎さんは宇宙人です。

☆　作る方から言うと、 59 歩を配置するのは割と自然な発想です。趣向自体が歩を打っては消すの繰り返しですから、繰り返しのキーも歩にしたくなります。盤がもっと広くて歩の枚数も多ければ、たぶんもっと遠くに歩を置いたと思いますが、そうすると歩を消す狙いも分かり易かったでしょうね。

☆　予定変更で急遽出題となった本作ですが、やはり難しかったようです。
場合によってはこれを「氾濫 30 」に出していた可能性もあったのですが、その「氾濫 30 」も難問揃い。今の所メール解答が 3 通。パラ編集部から解答が届いても、果たして 2 桁に達するかどうか微妙な状況です。
今月は「第 12 回 WFP 作品展」とか「JIGSAW BOX #6 」とか「Fairy of the Forest #20」とか、フェアリーの出題企画が多く予定されているので、来週の出題は易しめの作を選ぶ必要がありそうですね（これから考えます）。
詰将棋全国大会の中で誰かが「フェアリー分会」でも開いてくれれば解答数も増えるかも……

（ 2009.7.5　七郎）

# 詰 将 棋 メ モ

## 推理将棋第 23 回出題解答

担当　タラパパ

出題日　　：2009年６月６日
解答締切　：2009年６月20日

**２３－１　初級　渡辺秀行さん作**
**４段目の角　　９手**

「隣の９手で詰んでいた将棋、４段目にいる角の利きに馬が連続で移動していたね」
「うん。８手目は61金だったかな」

（条件）

- ９手で詰んだ
- ４段目にいる角の利きに馬が連続で移動した
- ８手目は61金

**出題のことば（担当　タラパパ）**
８手目の61金、なんとも不思議な手ですが。

---

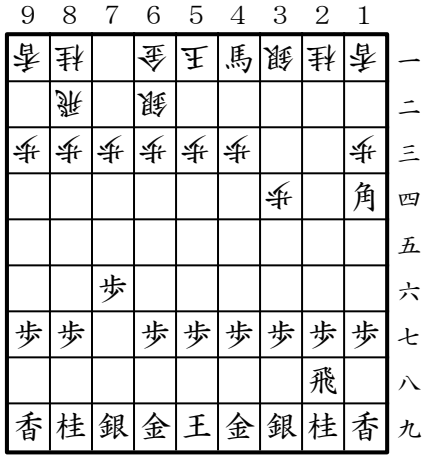
推理将棋第２３回解説　　担当　タラパパ

「９手マイスター」の別名が定着した渡辺さんの特集、推理将棋の新しい風を感じる作品群でした。
とりわけ中上級作品は目から鱗の着想で、広く知って頂きたい傑作です。

**推理将棋２３－１　解答**

▲７六歩、▽３四歩、▲２二角成、▽６二銀、▲１四角、▽７一金、▲２三馬、▽６一金、▲４一馬まで９手で詰み

終了図




持駒 金歩

**作者**　「条件から、76歩、34歩、22角成、？、n4角、？、？馬、61金、？馬ですが、61金は一度動かした金を戻す手ですから、初形から１手で詰み形を作らなければなりません。それには後手は62を埋めるしかなく、手順が自然に決定します。」

作者の論理をさっそく検証してみましょう。まず４段目の角は先手の角なのか、後手の角なのか？

もしも後手の角だとすると、最短は後手44角の筋に馬が動く順ですが、どう頑張っても７手目と９手目。すると、両王手など特異な形ができない限り、９手目の馬の王手に同角と取られて詰まないはず。その特異形を作るには、もう一枚の飛び道具（飛）を５手目に打たなければならないので。

こうして４段目の角が先手角と決まれば、３手目に角を取り、５手目に打ち、残る２手で打った角の利きに馬が連続移動と決定します。

そして必然的に２手目34歩が確定すると、”８手目の61金”が何とも不思議な手になります。
常識的には41金が61に動きそうなものですが、２手目34歩では不可能だから。
そう、「61金」は一度動いた金を、また元に戻す遊び手しかあり得ないのです。

61金のような”無駄手の活用”は、新味ある手

順を開拓する上で、今後有力な手段と言えそうです。

**まさ**　「４手目62銀が盲点になり、結構考えさせられました。」

■元に戻る手だと気付いても、たいていは62金～61金と考えますからね。

**ミニベロ**　「この角のラインは新しいと思う。待ち手が巧妙！　」

■この新しいライン、ミニベロさんも気付いていましたよね？

**橘圭伍**　「先手の手順が決まっているので易しいという事でしょう」

■論理的な推理で行けますから。

**リーグ戦ファン**　「61金は41から来たりするかな？角筋は先手だろうね、と予想してから解題。先手角を64・44・24と打ってみて、やっぱり後手角？と考えてみて、やっと先手14角に気付くまで29分。後手金が62に上がれないぞ？と戸惑ってから、71金に気付くまであと１分。この最後の１分の戸惑いが、私にとって推理将棋の楽しさの大きなポイントです。佳品の紹介をありがとうございました。後手ムダ手の処理条件をいろいろ考えてみたのですが、▽61金は実にうまいですね。私だと「７手目は後手の大ゴマに取られる所へ進む手」などと、見苦しいことに。」

■解ける瞬間の楽しさ、推理将棋の醍醐味でしょうか。お示しの条件、これはこれで”あり”だと思いますが。

**はなさかしろう**　「馬とリンクできる角打は案外いろいろあるんですね。解けてみれば 5+2 手の順、冗手２手を意外性のある61金で完全限定してしまうところ、やはり巧いです。」

■61金という発想。柔軟な頭脳の持ち主なんでしょうね。

**はらたっと**　「最初の条件が大ヒントですね。５手目２択で24角が無理なのを確認して14角をチョイス。いわゆる、初心者の食いつき易さを考えた素敵な一題目ですね。」

■初級には格好な作品ですが、初心詰というには難しそう。

**鈴木康夫**　「最初は角を24に打つのかと思いました。９手の短手数なのに無駄な金の往復があるとは想像できませんでした。」

■24角は王手になってしまうのが辛いんですよね。

**竹野龍騎**　「厳しい制約条件なので筋道立てて解けました。けれど、謎解きの味は薄く、解後感はいまひとつでした。」

■理路整然すぎて、却って物足りなかった？

**宮谷保可楽**　「４段目に後手の角がいるものだと思いこんで、頭を抱えることしばし・・・。」

■そこから入るのが、むしろ普通だと思いますよ。

**S.Kimura**　「”４段目にいる角”という条件がなぜ必要なのか、分かりませんでした。」

■す、鋭い！”４段目”を外しても先の推論は成り立つので、特に謳う必要はなさそうな・・・。

**○術師**　「違和感のある手順でした。後手の条件が無駄手を指すためだけにあるので、問題のための問題、という印象です。」

■推理将棋は”何でもあり”と考えています。詰将棋では私なんかも自陣成駒がイヤなのですが、それもこれも、”好み”ということでしょう。

**高坂研**　「例によって、４段目の角を後手のものと早とちり。それに気付いてからも、筋を一つずらすのがなかなか思い浮かばない。結構悩みました。」

■くくくっ、そうこなくっちゃ。

**はてるま**　「成程62飛だと金が戻れないわけですね。61金、面白い条件でした。」

■そこに着目した作者の勝ち？

**コメント欄より**

**投稿：　渡辺 ｜ 2009.06.28**

まささん> 62銀が盲点になり
はてるまさん >成程62飛だと金が戻れないわけですね
嬉しいですね。実は、これは第二作意なのです（第一作意は「論理で解き切れる問題」ということですが...）。

推理将棋の９手詰めでは、玉の逃げ道を埋めるために２段目に「飛」または「銀」を上がり、しかもそれが「飛」か「銀」かが非限定となることが多くあります（「銀」ではなく「金」のときもあります）。それを限定するために「飛／銀が動いた／動かなかった」というような条件がよくありますが、本問ではそれらの条件が無いため、慣れた人にとっては62銀は「62飛と非限定では？」となるために第１感では除外する場合があります。

８手目からレトロで考えた人にとっては、金を戻す位置は71以外ないのであっさりと解けすぎて物足りな過ぎたかもしれません。

S.Kimuraさん> ” ４段目にいる角”という条件がなぜ必要なのか
最終的には不要だと思いますが、本作は最初の条件だけで「角」＝「先手の角」と推測できるようにしたかったのです。

興味があればお考え下さい（類作あり）。
・９手で詰み
・後手角の利きに馬が連続で移動した
・飛が動いた

**投稿：　タラパパ ｜ 2009.06.30**

なるほど。61金条件がなければ、５手目に馬が動けるので、後手の角筋への連続移動が可能な訳ですね。
なぜ馬が動く場所が限定するのかを考えると、自然に作意に到達しますね。

---

正解：１５名

S.Kimuraさん　高坂研さん　鈴木康夫さん
竹野龍騎さん　橘圭伍さん　躑躅さん
はてるまさん　はなさかしろうさん
はらたっとさん　まささん　〇術師さん
ミニベロさん　宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

---

**中上級　渡辺秀行さん作　　弟子の見た将棋**

Ａ君「さっき変な将棋見たよ」
Ｂ君「うん、僕も。歩と角の着手しかなくて退屈だったから９手で見るのをやめたけど」
Ａ君「僕もだよ。22からも、33からも駒を成る手があったな」
Ｂ君「あれ、僕が見たのもそうだよ。後手が３筋の着手を連続じゃないけど２回していたな」
Ａ君「僕は最後に55の着手を見たけど。ひょっとして、同じ将棋を見ていたのだろうか？」
Ｂ君「さて、どうなんだろう？　師匠に聞いてみよう」

弟子のＡ君とＢ君の疑問に答えてあげて下さい。

作者　「皆様詰将棋のお得意な方ばかりなので、詰む問題の方が慣れているかも知れませんが、たまには詰まない推理将棋も一興かと思います。ただ「詰み」には
・適度に抽象的な条件である
・厳密にルール付け可能
・終局図として締まりがある
という推理将棋にとっては一石三鳥の利点がありますので、これからも推理将棋の主流は「詰み」でしょうけど...。」

中上級で求める手順は、詰みではありません。そうした問題は過去にも出題しましたが、これぞ作家の自由発想を発揮できる舞台で、テーマ設定にはとりわけ独創性が求められます。スイリストには一目も二目も置かれている作者、こ

の分野でも第一人者です。
この楽しいパズル、順次解明していきましょう。

**２３－２　中級　渡辺秀行さん作**
**弟子の見た将棋（Ａ君）　　９手**

前記、Ａ君の見た将棋

（条件）

- 歩と角の着手ばかりの９手（詰みかどうかは不問）
- 22からも、33からも、駒成があった
- ９手目は55への着手だった

出題のことば（担当　タラパパ）
　仕上げはなぜ55でなければいけないのでしょう？

---

**推理将棋２３－２　解答　　担当　タラパパ**

▲７六歩、▽３四歩、▲２二角不成、▽５四歩、▲５五角成、▽同歩、▲３三角、▽４二角、▲５五角成まで９手

終了図

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | 王 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | 一 |
| | 飛 | | | | 角 | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | 歩 | | | 四 |
| | | | | 馬 | | | | | 五 |
| | | 歩 | | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | | | | | | | 飛 | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | 王 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 歩

大きなポイントは「33からの駒成」。これを歩と仮定してみる。例えば37歩がてけてけ進んで行くと、もう一つの「22からの駒成」が77角成の王手しかあり得ないので失敗。９手という短い手数で32歩成を作るには、他条件を加味すると手がかかり過ぎるのです。33からの駒成は角しかない。

それをもしも先手が指したなら、33に角を運んだ（又は打った）瞬間に王手ですから、42角又は42歩と応じなければならない。この縛りがなかなか厄介です。

まず駒成２回がどちらも後手と想定してみましょう。すると可能性は、34歩～88角成～33角（打）～77角成のみ。８手問題ならこれで解決するのですが、困ったことに77角成は王手。66歩を取らせることも、68歩と打つ一歩を手に入れることもできないとなると、先手に77角成の王手を防ぐ術がありません。

こうして少なくともどちらかは先手と決まるのですが、さてどう手順を構築しましょう？

まず中級手順。こちらは駒成２回とも先手のパターンでした。

**まさ**　「こちらは素直な手順。」

■と思いましたが、人によってはこちらが難しくて上級が瞬殺とか。推理将棋の難易度独特のものなんですね。

**ミニベロ**　「詰みではなくても好作は出来る、という見本。　23-3 との対比が見事！　」

■この対比があって尚更光る。まさにそうした手順でした。

**橘圭伍**　「最終手55が大ヒントですね。合駒で打てば先手も33に打てるのがポイント」

■なぜ55でないといけないのか？　手順を実現するには後手に角を渡すのですが、55を指定しないと44で取らせて余詰む上に、遊び手ができてしまう。23-1のような”遊び手”をこちらに使うと、手順の美を損なってしまうんですね。

**作者**　「22と33からの駒成を両方先手の角とすると、76歩、34歩、22角生、？、？角成、？、33角、？、55角成までとなりますが、33角の王手を受けるには、角と歩の着手だけでは42角と

打つ合駒しかなく、したがって６手目は同歩と角を入手するしかありません。また、44が塞がっていると最後に55角成が出来ないので、後手は54歩から55同歩で角を入手することになります。」

■実に判り易い解説でした。

**躑躅**　「42歩合というのはちらっと考えたんですが、角をあげて42角合とするのに思い至らなかったため、非常に苦戦しました。」

■苦戦のあとに感動が(^^)

**リーグ戦ファン**　「成るのが先手後手一回ずつでないと不可能となぜか思い込んでいたため、Ａ君には少し悩まされました。55へ２回成れるようにするための後手のサポート。これも後手のムダ手処理条件が、これしかない！さすがです。」

■なるほど、こちらに苦労した方は、直感を外されてしまって悩んだのでしたか。

**はなさかしろう**　「歩合は無理と思いきや角合がありました。５手目44角成の余詰を最終手条件で消すのが絶妙です。」

■55の着手。ヒントを与えすぎるように見えて、実は適度な的を得たヒントでした。

**鈴木康夫**　「最終手が55と言うことで54歩から合駒を55で入手すると考えて解答にたどり着きました。」

■55の最終手は、角成しか考えられませんものね。

**宮谷保可楽**　「こちらはあっさり解けてしまった。42角を作るために、角を渡してフェニックス（だったっけ？）。」

■渡しても減らない角ですね(^^)

**S.Kimura**　「55で後手に角を返す(?)ところが面白いと思いました。」

■しかも、これだけ手を限定するヒントがあって、そこそこ考えさせてくれる。

**高坂研**　「普通に考えて成は先手だろう、すると33角が王手なので…と考えたら割とすぐ解けました。」

■こう考えた方は、比較的楽に見える手順かと。

**はてるま**　「最後55角成の条件で、先手の角の取らせ方も限定できるんですね。上手いです。」

■楽しめる問題でしょ？

---

正解：１２名

S.Kimuraさん　高坂研さん　鈴木康夫さん
橘圭伍さん　躑躅さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　まささん　ミニベロさん
宮谷保可楽さん　リーグ戦ファンさん
渡辺さん

---

**２３－３　上級　渡辺秀行さん作**
**弟子の見た将棋（Ｂ君）　　９手**

前記、Ｂ君の見た将棋

（条件）

- 歩と角の着手ばかりの９手（詰みかどうかは不問）
- 22からも、33からも、駒成があった
- 後手は３筋の着手を連続せずに２回着手した

**出題のことば（担当　タラパパ）**
　意外に難問ですが解後感抜群。中級手順の呪縛から抜けてください。

---

推理将棋２３－３　解答　　担当　タラパパ

▲９六歩、▽３四歩、▲９七角、▽５四歩、▲３一角不成、▽３三角、▲２二角不成、▽７七角成、▲同角成まで９手

終了図

| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | 王 | 金 | | 桂 | 香 | 一 |
| | 飛 | | | | | | | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | 歩 | | 歩 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| 歩 | | | | | | | | | 六 |
| | 歩 | 馬 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | | | | | | | 飛 | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | 王 | 金 | 銀 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 角銀

中級を解いた後だと、どうしてもこの手順の呪縛があり、先手の33角に42角でないなら、42歩合かな？などと思ってしまいます。

かといって、後手に77角成を与えては、先手も68角と受けなければならない。こう考えるのもまた中級手順の呪縛。

「77角成を同角成と取ればいいのか！」この閃きにいつ気付くかが解図の全て。気付けば手順の構築は一瞬でしょう。

**まさ**　「これは難問。先手角のダイナミックな動きが素晴らしい秀作。」

■２つの手順がまったく別物という点が、特に素晴らしいと思いました。

**ミニベロ**　「しばらく悩んでいきなり解けました。拙作の15手詰に近い収束がありましたから。詰みを外せば９手で表現できるのか！　」

■解ける時はいきなり。この瞬間が堪らないんです(^^)

**橘圭伍**　「角の回転が少し面白い。２があるので後手が両方するのかと苦戦」

■角の大回転。大技一本！ですね

**渡辺（作者）**　「23-2と同様に、22と33からの駒成を両方先手の角とすると、76歩、34歩、22角生、？、？角成、同歩、33角、42角、？角成までとなりますが、６手目の同歩は３筋の手ではあり得ませんので没となります（33 角成や31角成を同歩とできない）。
したがって、どちらかは後手の角ですが、後手に３筋の手を指させたいので後手が33角とするのが有力です。そこで先手がその角の裏を回って22角生とする手順を考えれば作意順に辿りつきます。」

■それでも、裏に回るなんて、容易に閃くものではありませんが。

**躑躅**　「こちらは瞬殺でした。」

■げげっ！

**リーグ戦ファン**　「Ｂ君が先に解けた私は変わってますかね。７手目の局面（先手22角後手33角）をまず想定したので、分殺でした。チェスのプルーフ問題っぽいので、解きやすかったかも。３筋「連続せず」２回、の条件は、２手目と４手目の限定目的だけかと思いきや、▲76歩▽34歩▲22角不成▽35歩▲44角成以下、の余詰を防ぐ条件になっているわけですね。Ａ君問題が解けてからやっと気がつきました。」

■貴兄もＢ君が先？　おかしい

**はらたっと**　「すみませんが、こっちが先にうかびました。中級手順の呪縛どころか中級が見えてきません。（汗）おかしいな
あ・・・・。」

■おっかしいって！（汗）

**はなさかしろう**　「先手はこの筋が第一感でしたが77角成の王手を取って一挙に解決というのがなかなか見えず、解けてスッキリでした。」

■中級の王手対策（角合）と上級の王手対策（王手駒を取る）の対比、なんとも言えませ

ん。

**鈴木康夫**　「最終手を限定できる条件が無いため８手目は77角成、９手目は王手を受ける手までは予想できましたが、68に駒を打つ手はどう探しても見つかりません。
仕方が無いので解答プログラムを組んで解かせました。角の裏側から角を利かすなんて思いつけませんよ！３筋の手が連続しないという条件がないと、３手目と５手目の手順前後の他に34歩35歩として23-2と同様の手順になる余詰が生じますね。バグが無ければ23-2、23-3の完全性が証明されたことになります。」

■こうした時にさっとプログラムを組める。羨ましい。

**竹野龍騎**　「王手が受からない条件設定が巧い。大きな動きが見事。秀作。」

■竹野さんも詰み以外の条件創作は得意分野ですよね。例の作品、発表しないのですか？

**宮谷保可楽**　「33からも22からも、成った駒は３択（先手の歩と先後の角）なのだが、この、有り得なさそうな組み合わせ（しかも半分冗談だと思っていた）にたどり着くまでに、大量の時間消費。でも満足。」

■今回の目玉２問。解後感が実に爽やかな秀作でした。満足感たぁ～っぷりでしょ？

**S.Kimura**　「22か33に歩を打つ手をあれこれ考えましたが、分かりませんでした。後手が角２枚を成る手も見つけましたが、８手目の王手が防げない・・・。答えを楽しみにしています。」

■その８手目の王手を防ぐ対策が、まさかダイナミックな回転だとは・・・・なかなか気付きません。

**高坂研**　「前問が呪縛となって大苦戦。成の可能性が後手にもあることは分かっていたが、歩が成る筋をしばらく追いかけてしまった。それにしてもダイナミックな展開にびっくり！」

■やはり呪縛になりましたか。自分がここから抜けられなかったので、早く抜けるようヒントに書いたともりでしたが。

**はてるま**　「角の大回転が素晴らしい。目の覚める手順です。確かに解後感抜群、解けてよかった・・・。」

■膝を叩いていただけたようで(^^)

---

正解：１３名

高坂研さん　鈴木康夫さん　竹野龍騎さん
橘圭伍さん　躑躅さん　はてるまさん
はなさかしろうさん　はらたっとさん
まささん　ミニベロさん　宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん　　渡辺さん

---

**総評**

**まさ**　「さすが９手の名手。いずれも楽しめました。」

■特に中級・上級の２問は記憶に残る傑作でした。

**ミニベロ**　「９手は推理将棋の華！　９手マイスターの渡辺さんだったら、12ヶ月連続で特集をやれるほど作品をお持ちのはず。これからも楽しみです」

■９手作品だけで楽に一年持ちますね(^^)

**はなさかしろう**　「渡辺さんはテクニカルな作風という印象があります。今回の３問は解いてから振り返るといずれも難しそうには見えない手順でしたが、解く手掛かりを見出だすまでが悩ましく、一気にほどけるところが好感触でした。」

■テクニカルな作風。たしかに。

**高坂研**　「歩と角だけでも、これだけ面白い手順があるんですね！詰めるのにこだわらないことで、推理将棋の新たな展開が期待できそうな

予感がします。」

■オーバーに言えば、推理将棋の明日を拓くものという気さえします。

**コメント欄**

投稿：　渡辺 ｜ 2009.07.03

Ａ君よりＢ君の方が正解者が多いのには驚きました。Ａ君はほぼ理詰め、Ｂ君は多少のひらめきが必要、
と思っていたのですが...。

リーグ戦ファンさん> ２手目と４手目の限定目的だけかと思いきや？の余詰を防ぐ
鈴木康夫さん > ３手目と５手目の手順前後の他に34歩35歩

そうなんです。「３筋の着手が連続した」だと35歩の筋で余詰むので仕方なく「連続しない３筋の着手が２回」となったのでした。

リーグ戦ファンさん> チェスのプルーフ問題っぽい

推理将棋をやる前はチェスのPGを解図していました（作図の経験はなし）ので…。でも図面を覚える必要のない推理将棋のお手軽さにかなり推理将棋にシフトしてしまいました。テキストエディタさえあれば問題を記録しておけますから。

ミニベロさん> 拙作の15手詰に近い収束

その作品は角の動きもダイナミックですが本作のように回転していませんし、角とは異なる別の駒の動きが命の構想作だと思います。そしてそちらの動きは15手でないと表現できません。

本作は22から77に角が成る手順を色々いじっていたときに、ふと「22の角が先手だったら？」と考えて浮かんだ手順でした。後手の角の位置は不定ですが33だと先手角なら王手になるので33で指定し、逆に「22からも33からも駒成のある角と歩だけの９手」を考えると、42角合の筋と77同角成の筋しかないことが証明できたので、これらに条件を付けました。

はなさかしろうさん> テクニカルな作風という印象
手順や収束図よりも解を導く思考過程をモチーフとする作り方をすることが多いからだと思います。詰将棋の出来ない人が作るとこうなるのかな？

投稿：　タラパパ ｜ 2009.07.06

これだから推理将棋の難易度は難しい。
自分で解いた時には、Ａ君の将棋は、さっさっさっと解けましたが、Ｂ君の将棋にはずいぶんと悩まされたものです。閃いたら一瞬ではあるのですが。
Ｂ君の裏から角をぶん回す手順・・・・・簡単には見えないはずなのに。

---

推理将棋第２３回出題全解答者：　１５名

S.Kimuraさん　高坂研さん　鈴木康夫さん
竹野龍騎さん　橘圭伍さん　躑躅さん
はてるまさん　はなさかしろうさん
はらたっとさん　まささん　〇術師さん
ミニベロさん　宮谷保可楽さん
リーグ戦ファンさん　渡辺さん

当選：　〇術師さん

## ギネスに挑戦！フェアリー編

担当：たくぼん

７月12日に「たくぼんの解図日記」にて以下の募集を行いました。

【記録に挑戦！歩合限定を含むばか詰作品が最小何枚で出来るか？】

・ばか詰
・歩合を含む手順
・手数不問
・完全作（非限定不可）
・出来る限り少ない駒数（配置駒＋持駒）

明らかに詰将棋メモにて行われているギネスに挑戦のパクリですが、募集後たくさんの方から投稿いただき思わぬ反響に私もびっくりでした。

とりあえず歩以外の合駒の最小枚数記録を載せます。

飛合・金合・・・２枚
角合・銀合・香合・桂合・・・３枚

各々いろいろな図がありますので図は省略します。（解図日記 2009/7/12 を見てね）

ということで歩合は一体最小駒数何枚で可能か？が今回の記録に挑戦でした。普通詰将棋では歩合は４枚が記録ですが、ばか詰においては安い合駒に限定するのはかなり難しいはず。歩合限定の為のいろいろな意味づけを皆さん考えてくださいました。それではこれよりは発表していきましょう。

なお当初、細かい条件を付けていませんでしたが、移動合・単玉・双玉・先手歩合などいろいろなパターンがあることがわかった為、２日目より部門別にて挑戦という形に切り替えました。本稿でも移動合・単玉・双玉・先手歩合の各部門別に発表することにします。

それではまいりましょう！

### 【 先 手 歩 合 部 門 】

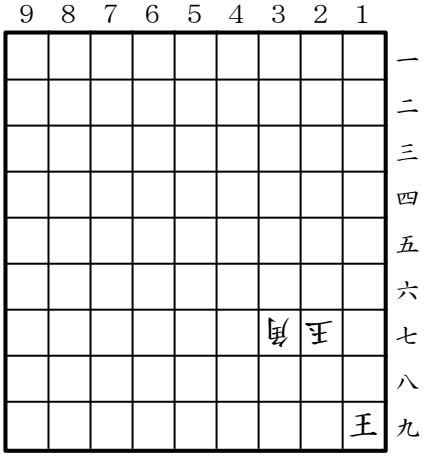
7/13にお二人の方よりメールが届きました。

**橋本孝治**
ちょっとインチキすれば枚数を減らせるので、以下のような方式を除外する条件を問題文に付けた方が良いでしょうね。
<u>５枚：ただし攻方の歩合</u>

**中村雅哉**
こんなのどうですか？
（図提示）
えっ？双玉はインチキですか？

★これは担当者の全く予想外の構想でした。しかもお二人から送られてきたのは全くの同図でした。

**橋本孝治・中村雅哉作**
**ばか詰　３手　（使用駒５枚）**



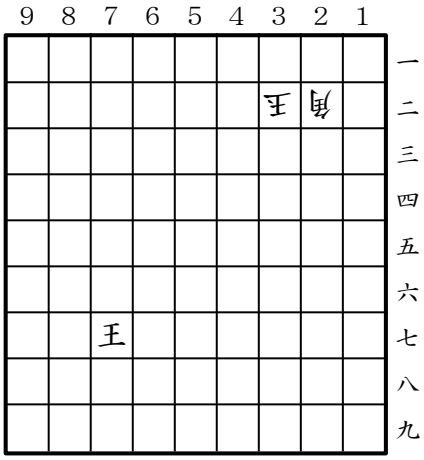

持駒 金歩

**28歩　17玉　27金　迄　３手**

歩合には間違いないでですが、まさにコロンブスの卵でした。看寿賞作家は発想豊かですね。しかも全く同じ図とはこれまたびっくりでした。
この後私も４枚で出来ないか結構考えてみましたが、完全作は出来ませんでした。
駒を増やさずというのはかなりの難条件です。

そしてその日の晩にKAMU氏よりこの部門にエントリーがありました。

KAMU作
ばか詰　３手　（使用駒５枚）



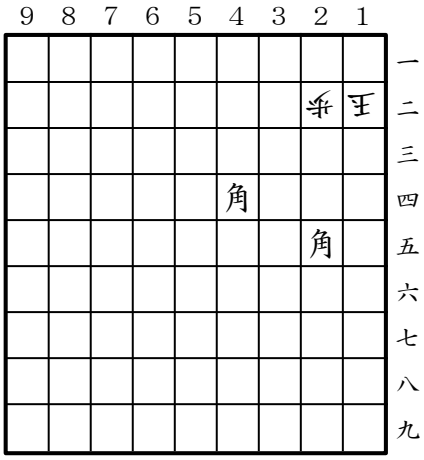

持駒 金歩
33 歩　31 玉　32 金　迄　３手

同じような図ではあります。結局この部門の最小駒数記録は３氏の　５　枚　！

【　移　動　合　部　門　】

7/12に中村雅哉氏より以下のメール
中村雅哉
　例えば、次のような形も「歩合」と認知されるのでしょうか？一応、「移動合」と解釈できる気もしますが、本来のコンテスト目的（いかに歩打を限定合にさせるか）とは離れる気もするので、一応確認したく。

中村雅哉作
ばか詰　３手　（使用駒５枚）



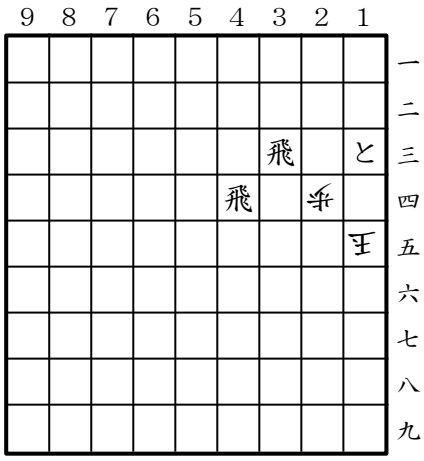

持駒 飛
34角　23歩　11飛　迄　３手

★まあ企画の狙いから言っても移動合は頭には入れていなかったのですが、このような質問が届きましたのであせりはしましたがとりあえず移動合部門を作り対処しました。募集の際にはちゃんとこういうことを想定しておかないといけませんでしたね。

　ということで翌日にしろ氏よりメールが届きました。しろ氏は本誌初登場です。

しろ
　歩の打合は難しいですね。移動合ならそれほど難しくありません。５枚で実現しました。４枚はあったら凄いです。

しろ作
ばか詰　３手　（使用駒５枚）




持駒 なし

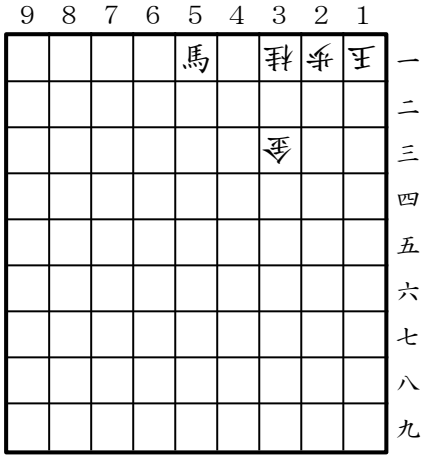
35飛成　25歩　14飛　迄　３手

　中村作が角に対する歩の移動合でしろ作は飛に対する歩の移動合と同様の筋です。作品的にはしろ作は初手成限定が入っています。

　そして推理将棋で活躍中の dsk 氏より次の図が届きました。（ネットで dsk 氏は他の名前で登場しています）

dsk
　苦しまぎれですが、これは歩合限定と言うのでしょうか？

dsk 作
ばか詰　５手（使用駒数６枚）



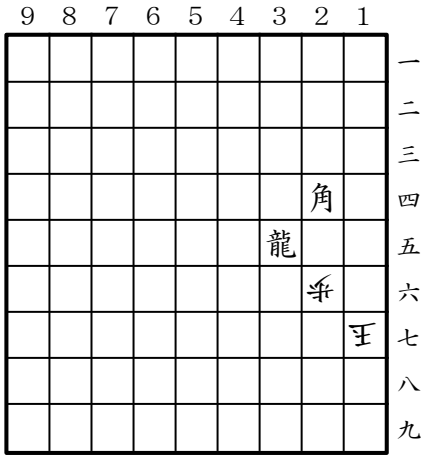
持駒 歩

33馬　22歩　12歩　21玉　11金　迄　５手

使用駒数は中村作・しろ作５枚、dsk 作６枚でした。

さて、しろ氏がコメントしていますが果たして４枚でできるのか？
実はしろ作より数時間早く移動合部門４枚の図が届いておりました。

橋本孝治作
ばか詰　５手　（使用駒４枚）



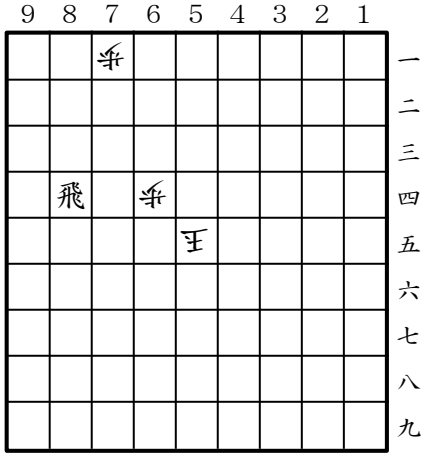
持駒 なし

37龍　27歩生　35角　16玉　26龍　迄　５手

橋本孝治
「歩不成」の最少記録に流用できるかもしれません。
★またいずれ各駒不成の最小駒数に挑戦！をするとは思いますが、歩生の記録作にもなりそうな図です。手順も素晴らしく１つの作品として充分成り立ちます。

そして同じ日に、フェアリー新人KAMU氏より送られてきたのがこの図。

KAMU作
ばか詰　７手　（使用駒４枚）



持駒 なし

85飛　75飛　同飛　65歩　53飛　64玉
73飛行成　迄　７手

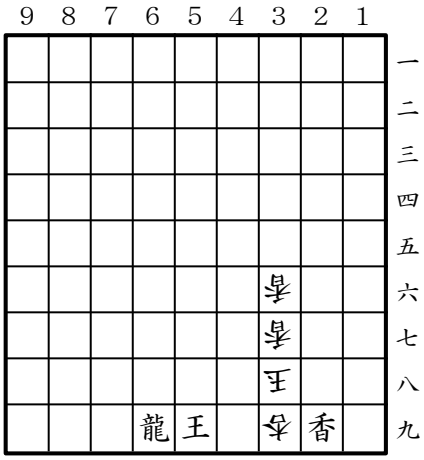
★こちらの図も凄い。飛中合入りで収束は橋本さんの名作を思い出させる順で好作かつ記録作。71歩の存在がたった１つの余詰順を消す為というのが実に惜しい。それを考えれば３枚でもできるのではと思ってしまいます。
とりあえず現段階では移動合部門の最小駒数記録は、橋本孝治作で　４ 枚 です。

## 【 双 玉 部 門 】

私が一番期待していたのは実はこの部門。歩合限定させるには先手玉の関与が不可欠と思っていました。皆さんもそう思われたのか、当初は双玉での記録チャレンジが多くありました。

まず一番最初に届いたのが、詰パラ短大教授のこの方の作品でした。

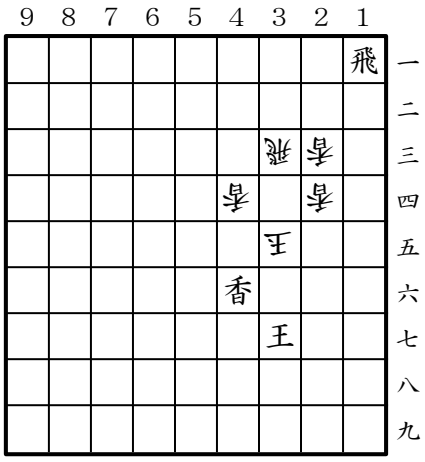
石黒誠一作
ばか詰　３手　（使用駒８枚）




持駒 飛
58龍　48歩　28飛　迄　３手

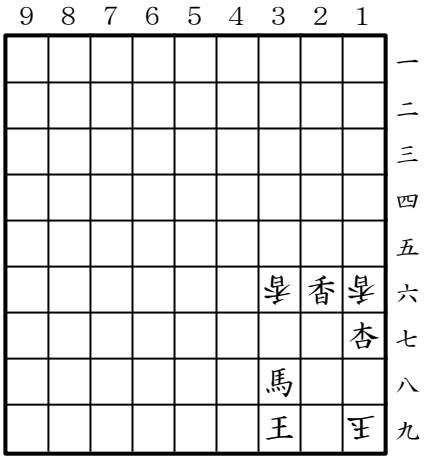
角、金、銀は逆王手、８段目で桂合は出来ず、香は品切れというわけで歩合限定です。双玉で考えたときに一番最初に浮かぶ構想だと思います。

続いて届いたのが橋本孝治さんの作品です。
橋本孝治作
ばか詰　５手（使用駒数８枚）



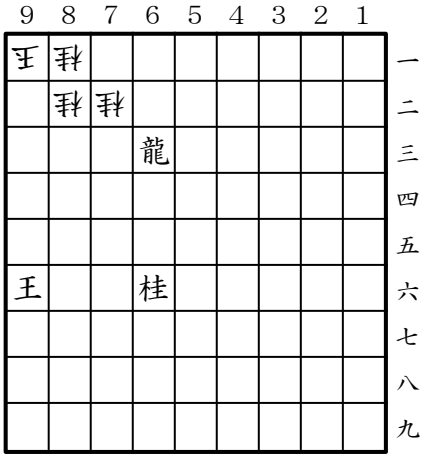

持駒 なし
15飛成　25歩　24龍　同香　36香　迄　５手

この図は最終手の36香が打てるように25の合駒が36に利きがないようにします。角、金、銀は利きがあり、桂は逆王手、飛と香は品切れというわけで歩合限定になります。作者の感想は「合駒制限の駒ばかりですね…」
そして、やや不満？の作者より第２弾が到着しました。
橋本孝治作
ばか詰　７手（使用駒数７枚）




持駒 なし
37馬　28歩　18杏　同玉　36馬　17玉　18香　迄　７手
飛型から角型へ変えて、逆王手になる角合の１枚を減らすことに成功しました。しかし作者はまだ不満を漏らします。「 16 香はいわゆる『花駒』。何とか合駒制限が不要になる仕組みを考えないと…」
しかしその後作者から投稿なしということでかなりの難題だったようです。
その４時間後に届いたのが KAMU 氏の使用駒７枚の作品です。橋本作とは異なり、合駒制限の駒が香から桂に変わっています。

KAMU作
ばか詰　７手（使用駒数７枚）

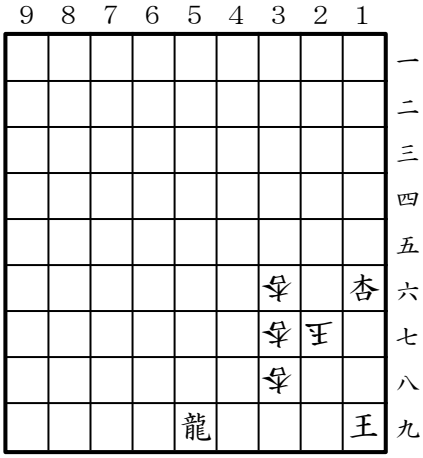



持駒 なし
93龍　92歩　82龍　同玉　74桂　91玉　83桂　迄　７手

最終手 83 桂の為に、 92 の合駒が、角、金、銀は 83 への利きがありダメ。飛、香は、玉が 82 へ行った時逆王手がかかるのでダメ。桂は４枚配置ということで歩合を限定しています。そして橋本さんの飛型パターンの７枚を送ってくれたのが中村さんでした。

**中村雅哉作**

**ばか詰　３手（使用駒数７枚）**



持駒 なし

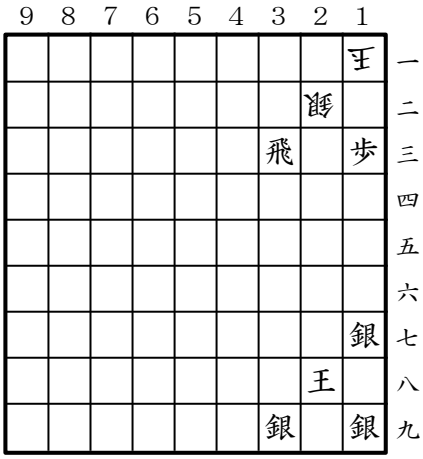
**29龍　28歩　18龍　迄　３手**

まさになるほど！という作品です。さすがですね。

そして移動合部門にも登場した dsk 氏より次の図が送られてきました。

**dsk 作**

**ばか詰　５手（使用駒数８枚）**



持駒 なし

**31飛成　21歩　22龍　同歩　12銀　迄　５手**

dsk

価値も記録もないでしょうけど、とりあえず８枚が可能なことを図示しておきます。これが私のばか詰処女作というのは .... 。

作者は、ばか詰処女作ということで今後フェアリー界への登場も期待しています。内容もさすがと思わせる作品です。合駒制限の駒も、桂や香ではなく銀！その理由はこれまでの図では発生させた歩は全てそのまま詰上りに残っていますが、本作はその歩を動かすという高等テクニック？を使っているからです。21に合駒した駒を22へ移動させて12への利きを外します。飛、香合は４手目が逆王手。角、桂合は22龍が取れず、金は12へ利きが消えず、銀は品切れというわけです。

dsk

思考過程は「歩の特徴は？」→「前に動けるけど横に動けない」

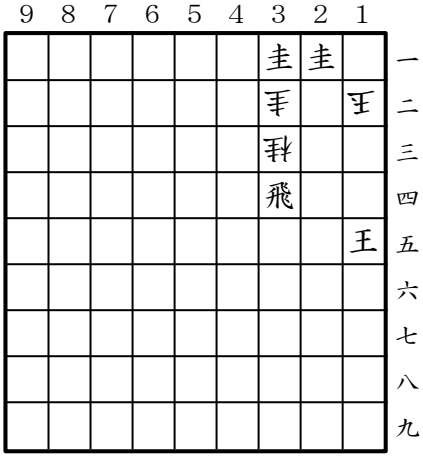
→「では歩を前に動かしてその横に駒を打って詰みの図は？」で基本図。

「前に動けるけど横に動けない」を満す他の駒、すなわち「香銀」をベタベタ無駄に配置して11枚の図を作りました。提出直前に「香４枚→詰方玉」と出来ることに気付いて現在の図になりました。

そしてその翌日７枚の図が送られてきました。

**dsk 作**

**ばか詰　５手（使用駒数７枚）**



持駒 なし

**14飛　13歩　11圭　23玉　24飛　迄　５手**

dsk

１枚駒が減りました。一応花駒なしです。
32成桂は「14飛、23玉、24飛、12玉、22飛成」の防ぎ。
31成桂は「14飛、13飛、同飛成、21玉、11飛」の防ぎ。
しかし、これ以上減らすには発想を変えるしかないですね。

双玉では、玉２枚、合駒制限の駒４枚、跳駒１枚の計７枚が最小なのでしょうか？どなたか新たな発想をお願いします。

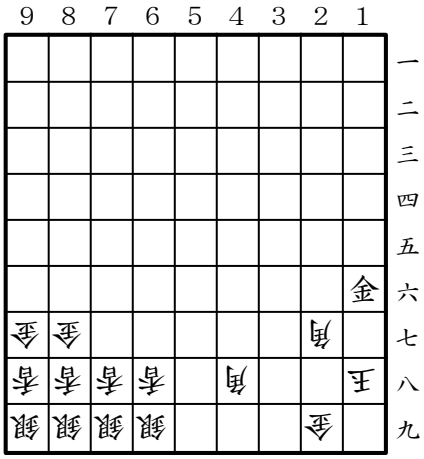
双玉部門の使用駒数最小記録は、**７枚　！**

橋本孝治、KAMU、中村雅哉、dsk 以上４氏でした。

## 【　単　玉　部　門　】

今回一番、盛り上がった（私がですが）のが本部門。まず一番最初に反応していただいたのが詰パラ短大教授の石黒さんでした。

**石黒誠一作**
**ばか詰　３手（使用駒１７枚）**



持駒 飛2

**38飛　28歩　17飛　迄　３手**

**石黒誠一**

まさかこれが最小とは思えないのですが、念のため入札？（笑）

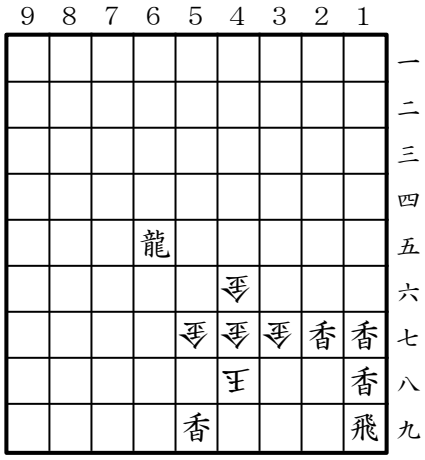
８段目ですので桂を除き歩以外の駒を全て配置すると言うもの。担当者としては誰からもチャレンジがなかったらどうしよう～と思っているところへの反応ですので嬉しかったです。ありがとうございました。

続いてしろさんよりメール。

**しろ**

打合のほうですが、意味付けとしては大きく「取る場合」「残す場合」の二つがありますが、前者は少し考えて捨てました。後者ではどこに利きが「ない」ことを利用するべきかですが、やはり角金銀が除外できる斜め前の効きがないことを利用することに。桂は８段目合駒禁止を利用しましょう。
この路線での理論値は玉飛２香４の７枚です。飛で歩合を引き出し、その飛を移動させて歩のピンを解除した後、歩の斜め前からの王手で詰み、という構造になります。
あとは王手駒を何にするか、飛の移動理由をどうするのか、という意味付けです。では、できた図面を２つお送りします。（本来はベスト記録だけ送るのが筋ですがだらだらすみません）

**しろ作**
**ばか詰　５手（使用駒11枚）**



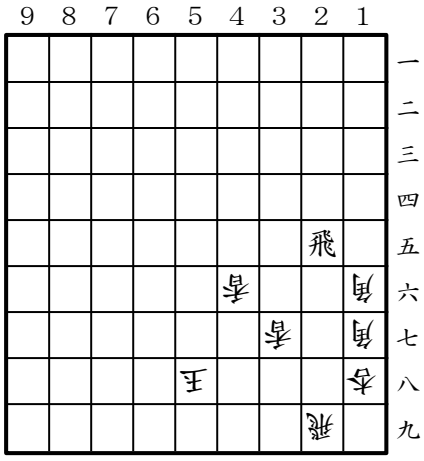
持駒 なし

**68龍　58歩　57龍　同金上　49金　迄　５手**

11枚の完全作です。17,27 香は合駒制限だけの花駒です。
金の質駒を一間龍ならすぐに王手で取れる歩合の裏に配置しました。
経済的ですが、この手順では金合が防げません。

そこで次の図面を得ました。

しろ作
ばか詰　７手（使用駒９枚）



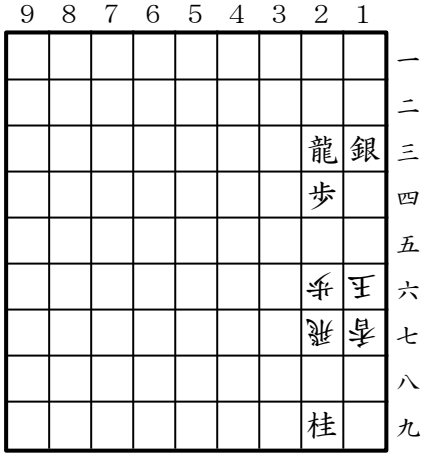

持駒 香

28飛　38歩　59香　49玉　29飛　48玉　49飛打
迄　７手

９枚の完全作です。
歩を中合して、玉をその隣に移動させる手順がポイントです。角の品切れには意味はありませんが、効率のいい余詰消しです。
作成時は手を絞るため27飛28香配置でしたが、枚数確定後の検討で、この形に整形できました。

★この次点で９枚まで減りました。歩合の意味づけも分かりやすいですね。角を置かずに余詰が防げればいいのですが・・・

続いて８枚の図を送ってこられたのが橋本孝治氏。
橋本孝治作
ばか詰　９手（使用駒８枚）



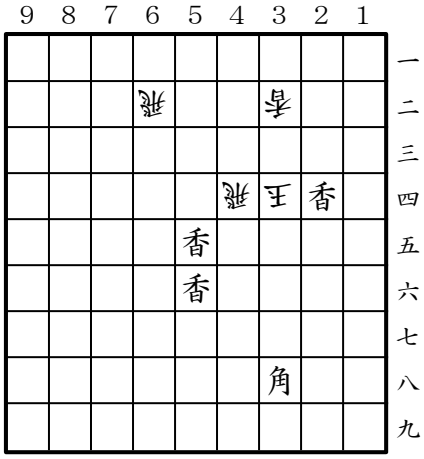

持駒 なし

14龍　15歩　同龍　同玉　16歩　25玉　17桂
14玉　15香　迄　９手

16歩に玉が一旦25へ寄ってから14へ移動する為歩に限定させています。気になるのは作品成立の為の２枚の歩配置ですが、どうにかなれば記録も伸びそうです。

同じく８枚の図を送ってくれたのが雲海氏、WFPや詰パラで創作、解答にと大活躍中の新鋭です。

雲海作
ばか詰　７手（使用駒８枚）




持駒 なし

16角　25歩　同角　33玉　34歩　43玉　53香成
迄　７手

雲海
　私もこの企画に参加させていただきます。紛れが多い５手の安南ばか詰を創ることは挫けたので（私には無理です…）、せめてこちらだけでも頑張りました。

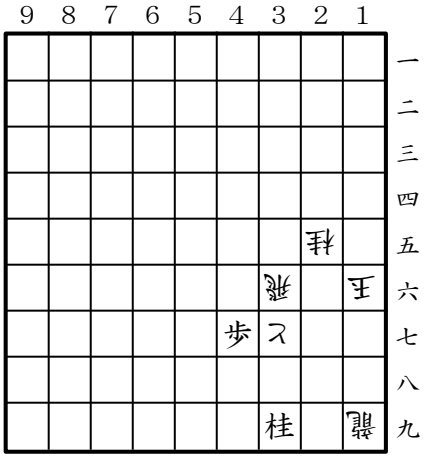
ここまでは全て飛（龍）に対する歩合でしたが、雲海氏は角で８枚を実現しました。合駒の歩を取るパターンで飛２香４の駒配置は合駒制限を含んだものです。

そして次の届いたのが、橋圭伍氏の８枚の図です。パターンで言うと橋本作８枚の図のパターンに近いと思いますが、連続合をすることで配置駒を減らしています。

橋圭伍
　構図上飛を置かなくても限定なのですが何と

いうか余詰が厳しすぎですので妥協する事に・・・ていうか、これだと金合も発生させてるので反則でしょうか？

**橋圭伍作**
**ばか詰　７手（使用駒８枚）**




持駒 角
**49角　38歩　同角　27金　17歩　15玉　27桂　26玉　16金　迄　７手**

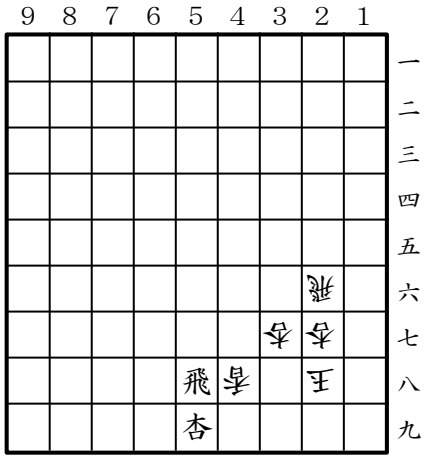
橋本作と同様、一旦15に逃げてから26へ移動することで歩合にうまく限定しています。47歩が何とかなりそうに見えるだけに惜しい気がします。作者のコメントを読んでみましょう。

**橋圭伍**
　玉が斜めを通る事で金銀合を、一間以上遠くを通る事で香合を、龍の利きを通る事で桂合を消しています。また、角は王手出来ないので論外です。形的に飛合は残っていても問題ないですが余詰が厳しくて配置せざるを得ませんでした。36に飛を配置する必要のない構図を見つければ余詰防止配置の47歩を消せるので更に一枚消せますが、何十という配置を検討したのでこれ以上は考える気がしません

さてここまでの最小は８枚です。合駒制限の駒をいかに少なく配置するかがここから記録が伸びるかどうかのポイントになりますが、果たして８枚を切る作品は可能なのでしょうか？

実は橋本さんの８枚の図の送られてきた同じ日にすでに７枚の図が送られてきていました。送られたのは仕事中に考えてくれたKAMU氏でした。

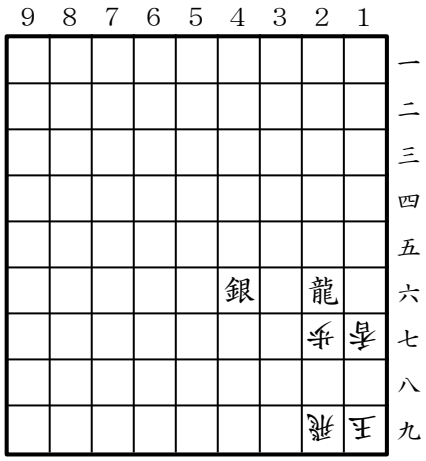
KAMU
　この課題のおかげで今日は仕事が進まん進まん・・・
KAMU作
**ばか詰　５手（使用駒７枚）**




持駒 なし
**48飛　38歩　29香　39玉　49飛　迄　５手**

え～仕事中っすか？？とはいえ見事８枚を実現しました。しろ作９枚の角を除いた形で創り上げています。KAMU氏はフェアリー初心者で今回初めてｆｍを触ったとか・・・これでフェアリーに目覚めてくれることを期待しています。それにしても全く無駄がありません。まさに究極の図！と私も思ったのですが世の中には凄い人がいるもので・・・

**橋本孝治作**
**ばか詰　９手（使用駒６枚）**




持駒 なし
**17龍　18歩　同龍　同玉　19歩　28玉　37銀　17玉　18香　迄　９手**

８枚の図を更にコンパクトに纏められました。香合は19香に17玉が出来ず、角、金、銀合は28に逃げれず、桂は８段目で打てずということで歩合限定です。飛合さえなければ他に合駒制限の駒配置はいらない見事な構図です。まさに究極か？

とりあえず単玉部門の使用駒数最小記録は、橋本孝治氏の　**６枚　！**　です。

【総評】

**橋本孝治**

こういう催しは、嵌ると時間を取られそうで怖いのですが、とりあえず投稿しておきます。（後で追加があるかも…）

★　その後見事に４回にも亘り追加頂きました。見事に嵌られたようで、こちらとしては大感謝です。

KAMU

かなり反響があったみたいですね。攻方歩合、やっぱり考える人がいるんですねぇ。
今回の課題のため、初めてＦＭをさわりました。考えた図がいやぁ潰れる潰れる。
くらくらしました。初めて柿木をさわったときも、似たような事を感じたような。

★　FM の使い方も分かったことだしばか詰を是非創って下さいね。とりあえずは田舎の曲詰でもいかがですか？

**雲海**

とりあえず双玉部門以外の３つを創ったのですが、どうやら単玉部門が８枚で最小枚数を更新できそうです。（既に更新されていたらすみません）あと２つは同数タイでした。

★　その後更新されてしまいましたが、まだまだ少ない駒数の図があるかもしれませんね。

【結　果】2009/7/18　認 定

各駒の限定合の使用駒数最少記録フェアリー編

（ばか詰歩合の部）

先　手　歩　合　部　門

記録５枚
- 橋本孝治・中村雅哉　３手
- KAMU　３手

移　動　合　部　門

記録４枚
- 橋本孝治　５手
- KAMU　７手

双　玉　部　門

記録７枚
- 橋本孝治　７手
- 中村雅哉　３手
- KAMU　７手
- ｄｓｋ　５手

単　玉　部　門

記録６枚
- 橋本孝治　９手

【さいごに】

厳密に言えば投稿の早い順１作が記録作とするのが正しいやり方かもしれないが、横一線とすることにした。野球でもなんでもタイ記録も同様に扱いますので。その点ご了承下さい。また今後もこの記録を塗り替える作品が出来た方は是非私まで送ってください。記録更新作として誌上にて発表します。

ちょっとした思い付きで始めた当企画でしたが思わぬ反響を頂き、たくさんの方より投稿頂きました。感謝いたします。初めてばか詰を創ったという方も何人かいらっしゃってこれは大成功！でした。次回は駒不成でお目にかかることになるでしょうから皆さん早めのご準備をお願いしておきます。

たくぼん

# 妖精賞の系譜（１）

今回より詰パラにて発表されてきました妖精賞受賞の作品を紹介していきたいと思います。ただ妖精賞以前には前衛賞という賞もあるのですが、担当者がまだ全てを把握していないということもあり今回は妖精賞から紹介とさせて頂きたいと思います。

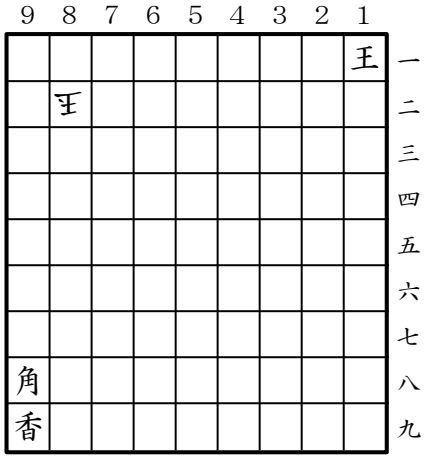
なお細かい解説等出来ませんので当時の解説や短評等を中心に載せていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

第１回の今回は、第１回～第３回までの受賞作を紹介します。どの作品も現在から見ても素晴らしい作品ばかりです。

## 第１回　妖　精　賞

第１回の妖精賞は読者からの推薦投票という形で行われた。栄えある第１回妖精賞グランプリは金子清志作ばか自殺詰 10 手が得票数 10 で受賞しました。得票数２位が８票で２作、４位が６票で２作と大混戦であったため各部門別とはならなかったようだ。

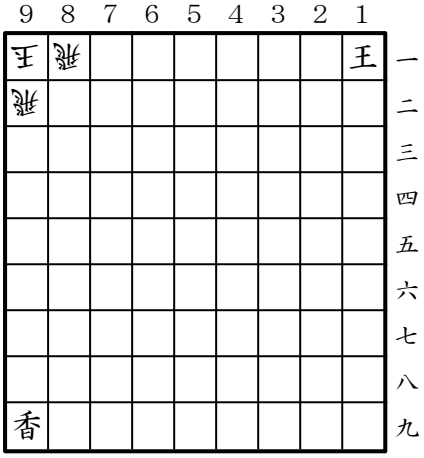
**詰将棋パラダイス 1988 年 2 月号**
**金子清志作**
**ばか自殺詰　10 手**




持駒 飛

83飛　91玉　93飛成　92飛　82龍　同飛　54角　92飛打　81角成　同飛　迄　10手

詰上図




持駒 なし

★　何と言っても詰上りが美しいし、初手の短打が意表を付く。そして解答王駒井さんがこの１年でこの作品だけ解けなかったというのだから凄いことだ。第１回受賞作に相応しい傑作である。

麻生悠－前半６手が全く裏をかく妙手順。斜対称の詰上りが美しい。

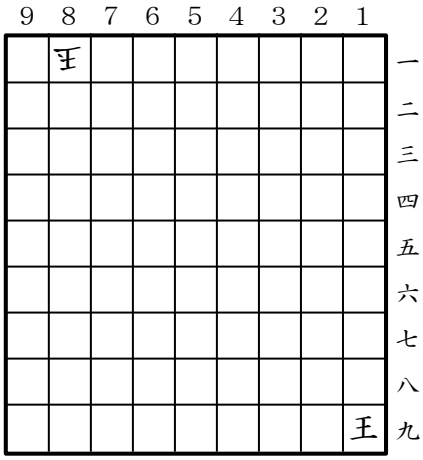
## 第２回　妖　精　賞

部門別ではなく読者からの推薦形式で賞が決まる。１位は上田吉一作二玉詰「オーロラⅡ」 25 手で得票数 16 。２位は小野小町作ばか自殺詰「集積回路Ⅱ」 1680 手で得票数 14 。３位が山田嘉則＋花沢正純作安南ばか自殺詰 10 手で得票数８。そのままその部門の受賞となった。

【短編部門】

短編部門は、山田嘉則さんと花沢正純さんの合作の安南ばか自殺詰１０手が受賞した。この時期京大グループはフェアリー詰将棋の数多くのの傑作を世に送り出した。とくに安南系は多かったように記憶している。

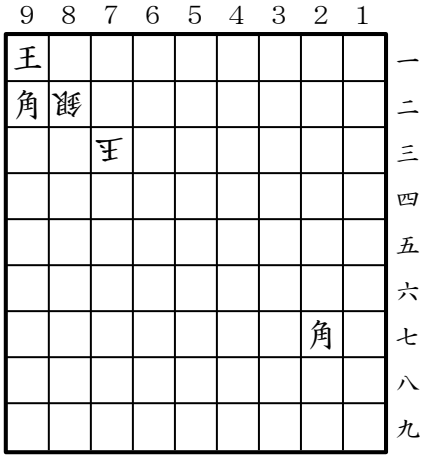
**詰将棋パラダイス 1989 年８月号**
**山田嘉則＋花沢正純作**
**安南ばか自殺詰　 10 手**



持駒 角2

27角　92玉　29角　82玉　28王　72玉　91王
73玉　92角生　82銀　迄　10手

詰上図



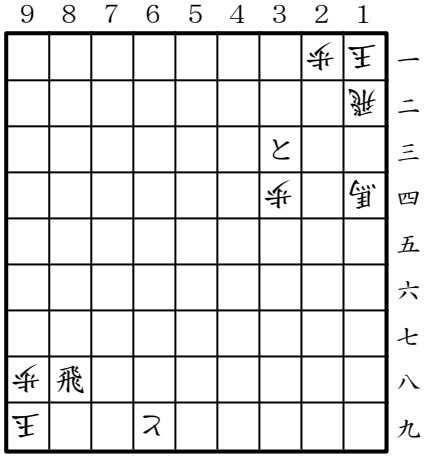
持駒 なし

**受賞コメント**
山田嘉則「たまには大向う受けを狙ってみようとこのルールに手を出しましたが、花沢さんのご協力を得て賞まで頂けるとは幸運でした。今度は渋い手順の作品で賞を取るという難題に臨んでみたいと思っています。」

★慣れないと安南特有の玉自身で王手する順が見えない。 19 玉が 91 へ大ジャンプして最後は限定銀合でアウト。安南特有の角と王との見事なコラボレーションと言えよう。

【中編部門】

**詰将棋パラダイス 1989 年９月号**
**上田吉一作　『オーロラⅡ』**
**二玉詰　 25 手**

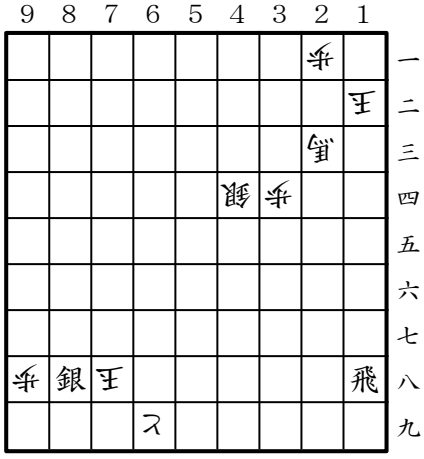


持駒 角桂2

23桂　同馬　22と　㋑同馬　23桂　同馬　77角
㋺66銀　同角　55銀　同角　44銀　同角　33銀
82飛成　44銀　88銀　89玉　78銀　同玉　12龍
同馬　22銀　同馬　18飛　迄　25手

㋑　同飛は、18飛　13桂　77角　88歩　同角
89玉　22角成　同馬　12歩　同玉　13飛成　以下
㋺　33合は、83飛成以下。22馬は同角成　同飛
18飛　17歩　88角　89玉　22角成　以下

詰上図



持駒 なし

担当者「簡潔な舞台で四銀連合を実現した本局は、歴史に残る。」

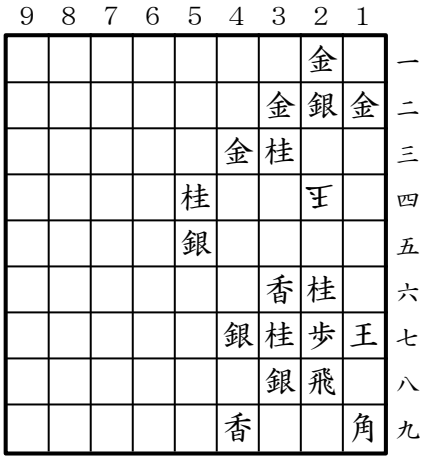
**受賞コメント**

上田吉一「最近フェアリーの楽しさが少し分かって来た所です。賞などは関係ないと思ってましたから驚きました。発表作は喜多真一さんから刺激されて、マネをして作ったものです。担当者安永さんの名解説には恐縮しました。多分受賞の原因はこれでしょうね。短評に自作のパロディ由がありましたが、実は図星。するどい解答者もおられるようです。ともかくありがとうございました。」

★　中編部門は自らの作品のパロディ作品で上田吉一さんが受賞。普通詰将棋「オーロラ」の四銀連合をフェアリー作品で実現した作品。得票も１位で大賞も受賞した。変化紛れも多々ありさすがという内容である。

【長編部門】

詰将棋パラダイス 1989 年 6 月号
小野小町作　『集積回路Ⅱ』
ばか自殺詰　1680 手



持駒 飛歩17

44飛　34 角　同飛　23 玉　24 飛　同玉
「㋑57角　46 飛　同角　15 玉　35 飛　24 玉　45 飛　35 香　同角　15 玉　㋺53角成　24 玉　44 飛　23玉　24 飛　同玉　35 馬　23 玉　45 馬　24 玉　46馬　23 玉　56 馬　24 玉　57 馬　23 玉　67 馬　24玉　68 馬　23 玉　78 馬　67 飛　24 香　同玉　79馬　㋩68飛生　同馬　23 玉　78 馬　56 香　24 飛　同玉　79 馬　68 飛　同馬　57 香成　44 飛　23玉　67 馬　56 杏　24 飛　同玉　68 馬　57 飛　同馬　46 杏　44 飛　23 玉　56 馬　45 杏　24 飛　同玉　57 馬　46 飛　同馬　35 杏　23 飛　同玉　56馬　45 飛　同馬　24 玉　25 飛　同杏　46 馬　23玉　56 馬　45 飛　同馬　24 玉　34 馬　15 玉　16歩　同杏　同馬　24 玉　㋥34馬　15 玉　24 馬　同玉　23 飛　同玉　25 香　24 角　同香　同玉　」×17
57角　46 飛　同角　15 玉　35 飛　24 玉　45 飛　35香　同角　15 玉　53 角成　24 玉　44 飛　23 玉　24飛　同玉　35 馬　23 玉　45 馬　24 玉　46 馬　23玉　56 馬　45 飛　24 香　同玉　57 馬　46 香　同馬　23 玉　25 香　同飛　56 馬　45 香　同馬　同飛　25 香　24 角　同香　同玉　15 角　同飛　まで　1680 手

㋑　68、79も可
㋺　成生非限定
㋩　成生非限定
㋥　15馬　23玉　24馬　同玉も成立

詰上図

持駒 なし

受賞コメント

小野小町「妖精賞の長編部門に選んでいただきどうもありがとうございました。作図のきっかけを与えてくださった小林氏、完全作にしてくださった橋本氏、宣伝をしてくださった安永氏と解答者の方々にお礼を言いたいと思います。」

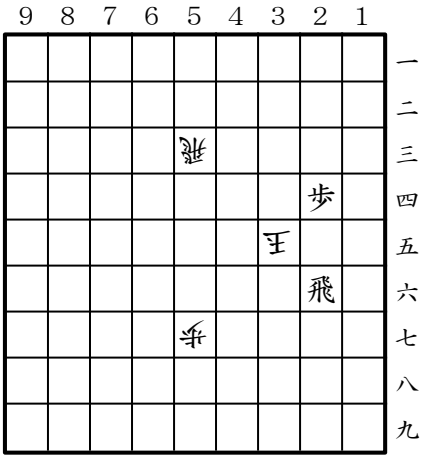
★発表時の作意は 1792 手であったが、橋本氏の早詰解 1680 手がそのまま最短解の完全作となった。
ばか自殺詰では定番の持駒が邪魔駒の作品。先手の歩が無ければ合駒なしで詰みのとなるので持駒の歩を消去する。後手玉は15,23,24の３ヶ所しか動くことができないため、先手は歩の消去が出来る場所は 15 の地点しかない。
手順を並べてもらえれば分かりますが、馬鋸、飛香合を駆使して成香を発生させそれを 25 まで連れて来て 15 歩を取らせる遠大な構想作なのです。非限定箇所がいくつかありますが、それも余り気にならない程の内容と言えましょう。
なお妖精賞推薦時に七郎氏は「作者は責任をもって『完全作』と『完全な作意』を発表する気でいて欲しいと思います。…」
と書かれていました。至極当然ですね。

## 第 3 回　妖　精　賞

部門別ではなく読者からの推薦形式で賞が決まる。１位は山田嘉則作の安南ばか自殺詰 30 手で得票数 11 。２位が神無太郎氏の安南ばか詰 5 手で得票数 7 。この２作が中編・短編部門の受賞となった。３位には小野小町作ばか自殺詰 1240 手が得票数 5 であったが長編賞は見送られ該当なしとなった。

【短編部門】

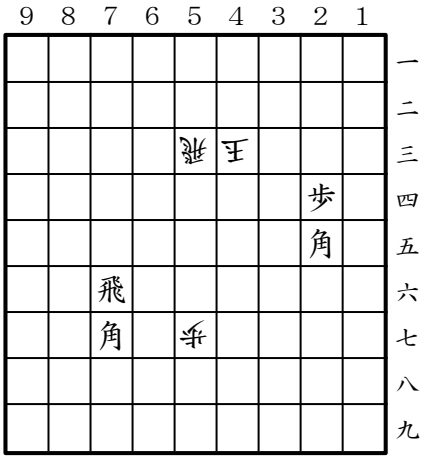
**詰将棋パラダイス 1990 年 9 月号**
**神無太郎作**
**安南ばか詰　5 手**




持駒 角2

25角　44玉　77角　43玉　76飛　迄　5 手

詰上図




持駒 なし

**受賞コメント**

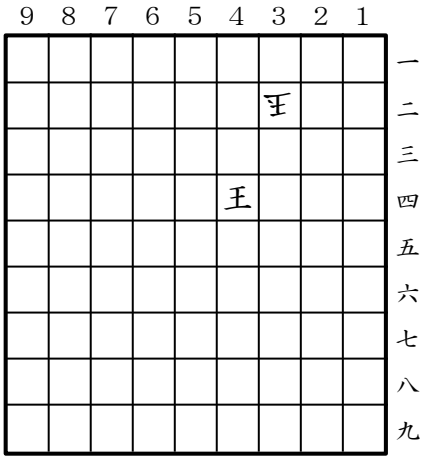
神無太郎「妻に受賞予告をしての投稿だったので正直ほっとしています。担当の『変身物では特有の珍妙な詰上りを狙えばまだまだ受けます』という言葉に触発されて、性能復活をテーマに作図したものです。これの１年ほど前にも佐伯治雄氏より同様の投稿があったが余詰だった由。本作は小林看空氏と担当の再三にわたる検討の賜物であることを申し添えておきます。」

★ACT主催のフェアリー短編コンクールで発表された作品。昨年だったかたくぼんの解図日記でも紹介したので見覚えのある方も多いだろう。詰上り４枚の角（性能）の利きが放射状に伸びている。３手目77角の限定打が本当に素晴らしい１手。まさに傑作。ただ解説時にはあまり賞賛されていなかったのが不思議。

【中編部門】

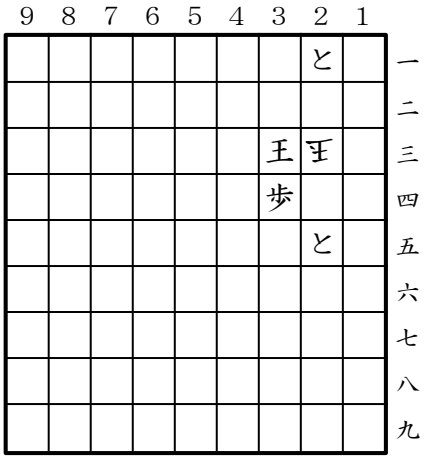
中編の傑作と言えば私はこの作品を思い出します。一体歩だけでどうやって自殺するのか？
まだ解かれていない人がいたら是非解答を見ずに解図に挑戦して頂きたいと思います。

**詰将棋パラダイス 1990 年 5 月号**
**山田嘉則作**
**安南ばか自殺詰　30手　（年間グランプリ）**




持駒 歩4

43歩　31玉　32歩打　21玉　31歩成　22玉
32と　23玉　33と　24玉　34と　25玉
35と　14玉　25と　23玉　34歩成　13玉
24歩　22玉　23と　31玉　32歩　21玉
33王　11玉　21歩成　12玉　34歩　23玉
迄　30手




持駒 なし

**受賞コメント**

山田嘉則「この作品は正直言って小粒なのですが、バランスが取れているのが好評の原因かもしれません。今後も細く長くフェアリーを続けて行く積りです。よろしくお願いします。」

橋本孝治－歩だけで自殺できるのも驚きだが、手順が自動的に限定されるのには更に驚く。

★　山田氏は第２回の短編賞に続き２年連続の受賞。合駒が出ない図でどうやって自殺するのか？考えれば自王が歩の上に乗ればと思いつくがその手順がこの作意順に限定できるとはこれは凄い。

## 解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

7 月 20 日（ 月 ）

**詰将棋メモ　推理将棋第24回出題**
**＊推理将棋３題**

8 月 1 日（ 土 ）

**Onsite Fairy Mate　149 回出題**
**＊禁欲協力詰　１題**

8 月 15 日（ 土 ）

**第12回WFPフェアリー作品展**
**Fairy of the Forest #20**
**第25回詰将棋全国大会記念作**

8 月 16 日（ 日 ）

JIGSAW BOX #4

## 投稿募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の投稿募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。投稿先は各々異なりますのでお間違えにないように。

9 月 20 日（ 日 ）

**詰　四　会 フェアリー 作　品　展**

- ルール／フェアリー詰将棋なら何でもＯＫ
- 手数／投稿数：無制限
- 課題／田舎の曲詰

投稿先／たくぼん（ takuji@dokidoki.ne.jp ）
または9/20開催詰四会に持参下さい。

## あとがき

先日届いた PROBLEM PAEADISE の将棋のコーナーに則内誠一郎氏と近藤武氏のAndernachというルールの作品が多く出題されている。実は投稿前に則内さんより検討を依頼されて協力したのだが、私が大丈夫でしょうと書いた作品も余詰が数作発見され、面目丸つぶれ？しかし新しいルールにはいろいろな手が隠れていてこれはこれでなかなか面白かった。

ちなみにAndernach（将棋）のルールは、「駒を取ったとき、駒取りを行った駒（玉を除く）はその場で１８０度向きが変わって相手の駒となる。但し、向きが変わると二歩を生ずる場合、その歩の向きは変わらない。駒の向きの転換は成生の選択の後に行われる。成生の選択権は駒を取った側にある。駒取りの場合に限り、８段目への桂の不成、９段目への桂香歩の不成が可能（二歩の例外を除く）」

実際には駒の向きが入れ替わるので暗算ではなかなか考えられないのだ。これは私だけかもしれないが・・・。

例題でも提示すれば分かりやすいと思いますが、勝手にプロパラの作品を転載するわけにもいかず、かといって自作があるわけでもなく、また分かりやすい例題がありましたら次号で紹介してみましょう。例題も募集します。よろしくお願いします。

たくぼん

2009 年　第 13 号

**Web Fairy Paradise**

非売品
平成二十一年七月号
平成二十一年七月廿日発行

発行所　愛媛県新居浜市
発行兼編集人　須川卓二
発行所　Web Fairy Paradise 編集部
問合先
須川卓二　takuji@dokidoki.ne.jp